

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

事業効果検証結果

(令和4年度終了後評価：令和5年3月31日現在)

令和5年7月14日
長和町 企画財政課

■本資料について

・本資料は、第2期長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：令和2年度から令和6年度）における令和4年度終了後評価のための資料として、総合戦略の各項目に関する令和5年3月31日現在の取り組み状況まとめたものです。

・「取り組み事業」欄の「R4年度事業費」は令和4年度の決算額、「R5年度事業費」は令和5年度の予算額です。

・「地方創生への効果」欄は、下記の①から⑤のいずれかが選択されています。

①地方創生に非常に効果的であった

例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合

②地方創生に相当程度効果があった

例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合

③地方創生に効果があった

例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合

④地方創生に対して効果がなかった

例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合

⑤未実施

例：事業が実施できていない場合

・「今後の取り組み方針」欄は、下記の①から⑤のいずれかが選択されています。

①事業の展開の将来性が高いので強化して実施

②事業を現行（計画）どおり継続して実施

③事業内容を見直して実施

④とりやめ

⑤予定どおり終了

【目次】

基本目標	主な施策	頁
基本目標 1	(ア) 特産品開発等による雇用の創出	1～5
	(イ) 雇用創出のための企業誘致、働く場所の確保	6
	(ウ) 雇用創出・人材定着に関する企業への支援	7～8
	(エ) 新規就農者の確保	9～10
	(オ) 商工業の発展促進	11
	(カ) 企業情報発信の強化	12
	(キ) 起業支援体制の充実・事業者の育成	13～14
	(ク) 森林環境譲与税を活用した森林整備の促進による林業者への支援	15～16
基本目標 2	(ア) 地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	17～20
	(イ) 空き家の活用による交流人口の増大	21～25
	(ウ) 若い世代の定住人口増大のための支援	26～27
	(エ) 国際交流の推進による交流の活発化と人材育成	28～29
	(オ) 情報発信体制の強化	30～33
基本目標 3	(ア) 結婚支援体制の充実（「婚活」支援）	34～35
	(イ) 子育てするための環境や支援の充実	36～51
基本目標 4	(ア) 協働のまちづくりの推進	52
	(イ) 安全・安心なまちづくり	53～55
	(ウ) 時代に適合した公共施設の整備・あり方の検討	56～58
	(エ) 時代に対応した公共交通網の検討	59～60
	(オ) 健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実	61～67
	(カ) 医療体制の維持	68～69
	(キ) 安心な暮らしを守るための空き家対策	70
	(ク) 道の駅マルメロの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上	71～73
	(ケ) 時代に合った別荘地づくり	74～75
	(コ) ふるさと納税制度の活用	76
	(サ) コミュニティ施設の整備による地域共生社会の実現とSDGsの実践	77～78

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-1
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1 (ア)特産品開発等による雇用の創出	事業担当課・ 係	産業振興課農政係					
総合戦略記載 内容	①東京農業大学との連携により開発した特産品の販路拡大、知名度向上に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	東京農業大学と連携して開発した特産品を活用した販路拡大、知名度向上等施策	施策の実施	(R6時点)	未実施	未実施	実習8回 実施		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 R2～R3:コロナ禍により東京農大との協議が全く進んでいないため、具体的な取組目標及び成果未定								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	東京農業大学と連携して開発した特産品を活用した販路拡大、知名度向上等事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	前期地方創生事業で開発・復活した「長和のトマト」を中心に、東京農業大学との連携事業である「山村再生プロジェクト」で開発した特産品を活用した地元道の駅や商店での販売及び原材料である加工用トマトを中心とした農作物の生産振興を図る。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大により、山村再生プロジェクト実習が一度も行えず、令和3年度については1回しか山村再生プロジェクト実習が行えなかったが、令和4年度は長和のトマト加工を行い、併せて大学による長和町の紹介をSNSにより発信する為の取材活動を行っている。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	140	千円	主な支出 内容	山村再生プロジェクト補助金(実習経費等一式)				
R4年度事業費	2,000	千円	主な支出 内容	現地実習8回(トマトソース加工・町特産品開発者等インタビュー・広報等)				
R5年度事業費	1,500	千円	主な支出 内容	現地実習8回(トマトソース加工・町特産品開発者等インタビュー・広報等)				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
新型コロナウイルスの感染拡大が十分に収束したとは言えない状況にもかかわらず、感染予防に努めながら山村再生プロジェクトがようやく再開し、当町へ来町しての実習が行えるようになった。ただ2年間実習が出来なかった事で、山村再生プロジェクトを認識している学生がおらず、一からスタートとなっている。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				③事業内容を見直して実施				
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
令和元年台風19号災害による実習圃場の耕作条件の悪化や新型コロナウイルス感染症による中断の影響もあり、山村再生プロジェクトの理解からのスタートとなってしまう、令和4年から2年間は大学、学生が何をすれば良いのかを再認識する実習が主となっており、観光やSNSによる情報発信等の農業以外の活動にも取り組んでいる状況である。今後、大学の学科や学生の意向を踏まえながら、長和町にとって有益なものとなるのか計画や内容を検証し、来年度以降の事業継続方向を検討する。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
委員からの 意見	・大学との連携は当町のブランド化や交流人口の増加のためにも意味のある事なので、根気強い継続実施が重要である。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-2
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1（ア）特産品開発等による雇用の創出			事業担当課・ 係	産業振興課農政係			
総合戦略記載 内容	②この地域に伝統的に伝わる、あるいは気候風土に合致する可能性のある様々な地域資源に、地域の様々な団体とも連携しながら、多方面からアプローチし、特産品としての掘り起こしを図るとともに、質の高い奨励品に関する認定制度の創設を目指します。あわせて、千曲川ワインバレー特区に関連する市町村と連携しながら、ワイン産業プロジェクト展開事業を実施し、ワインを活用した地域振興を目指します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
長和町奨励品数		118品目	（R6時点）	106品目	106品目	106品目		
試験委託醸造本数		500本	（5年累計）	0本	累計120本	累計130本		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	奨励品認定事業							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内容）	特産品の掘り起こしとして、毎年度3品目程度の認定（令和6年度に118品目の認定）を目標に据える。また、長和町特産品既奨励品を含め物産展への出展機会を作るため、商工会を中心としたイベント支援を行うとともに、既奨励品の磨き上げを支援しながら、質の高い奨励品の認定制度に関しても検討を行っていく。奨励品QRコード付ポスターを各所に設置する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	令和4年度は、2件の申請があった。（審査委員会は、令和5年度開催予定。）これまでに28団体106品目の認定をしている。奨励品QRコード付ポスターを製作し、町内各所に設置した。							
R2年度事業費	310	千円	主な支出 内容	奨励品審査委員会開催経費、物産品展支援補助経費				
R3年度事業費	593	千円	主な支出 内容	奨励品審査委員会開催経費、物産品展支援補助経費、奨励品QRコード付きポスター				
R4年度事業費	200	千円	主な支出 内容	物産品展支援補助経費、奨励品認定シール作成				
R5年度事業費	441	千円	主な支出 内容	奨励品審査委員会開催経費、物産品展支援補助経費、奨励品認定シール作成				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	ワイン産業プロジェクト展開事業（事業実施体制及び内容の検討、委託醸造等）							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内容）	委託醸造200本、圃場整備重機借上げ等により育成環境整備、電気柵、ワナ設置、鹿柵修繕による獣害対策の実施。委託醸造品の試飲、成果発表イベントを開催し、内外に宣伝を行う。併せて収穫量の安定を図ることにより増産、販路模索を検討する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	圃場の確保、整備、育成までを実施。令和4年度は130kgを収穫し130本委託醸造出来た。その他、鹿柵設置及び修繕を重ねる鹿による獣害にはかなり効果があった。更にハクビシン対策として電気柵・ワナを設置した。令和4年度は600本の定植、ワイン完成報告会を行った。							
R2年度事業費	1,600	千円	主な支出 内容	ワイン特区連絡協議会との連携負担金、ワイン産業プロジェクト委員会補助金				
R3年度事業費	1,600	千円	主な支出 内容	ワイン特区連絡協議会との連携負担金、ワイン産業プロジェクト委員会補助金				
R4年度事業費	1,500	千円	主な支出 内容	ワイン特区連絡協議会との連携負担金、ワイン産業プロジェクト委員会補助金				
R5年度事業費		千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
①奨励品認定事業のメリットが薄く、事業者からの認定要望が出にくい状況があり伸び悩んでいる。魅力となるメリットが必要で、認定事業の再構築が課題。他自治体視察等を行い、特産品の観点から、地域活性化を図る。								
②ワインぶどう圃場に獣害対策として、電気柵、ワナの設置を行うことで、収穫が叶い成果があった。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
①令和5年度は、奨励品申請が1件出る見込みのため、令和4年度の申請と合同で、奨励品審査委員会を開催する。 ②試験醸造が実現したが、130kgでは収益は見込めない。令和4年度からは、定植圃場の拡大に向け、苗の購入を行ったが、今後は、草刈り機等機械購入し、収穫量の増大を図る。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・ワインの試験委託醸造で累計130本という成果は、とても喜ばしい。さらなる発展の可能性も見え、期待する。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-3
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1 (ア)特産品開発等による雇用の創出	事業担当課・ 係	産業振興課農政係					
総合戦略記載 内容	③特産品の開発のほか、これらを効果的に活用した事業実施体制や販売戦略(ブランド化等)の構築を行い、地場産業の振興と6次産業化を推進し、より多くの雇用の場を確保します。あわせて、「強い農業」、「儲かる農業」、「持続可能な農業」を構築するための施策の検討を行います。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	6次産業化事業計画新規認定件数	1団体	(5年累計)	累計0団体	累計0団体	累計0団体		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	6次産業化推進事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内容)	第1期期間中に地方創生推進交付金を活用した事業に取り組んだ長和雑穀研究会への開発支援を行うなど、事業者の6次産業化に向けての取り組みの支援と特産品開発事業補助金を活用した支援を行う。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	長和雑穀研究会においては、平成29年度から令和元年度に地方創生推進交付金を活用し、「稼ぐ農業」事業を展開し、機能性雑穀の生産・商品化等に取り組んだ。令和2年度以降、6次産業化に向けての取り組みは行われていない。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	「強い農業」、「儲かる農業」、「持続可能な農業」についての施策の検討							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内容)	農業を取り巻く環境がかなり深刻な状況である中で、実際の施策の実現は困難な点もあるが、今後、町内外の事例の研究等による検討を行う。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	未実施							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費		千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で出てきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・長和雑穀研究会は、平成29年度から令和元年度に地方創生推進交付金を活用した「稼ぐ農業の展開によるイキイキ煌めく地域の創造事業」により機能性雑穀の生産・商品化等に取り組む、法人化による6次産業化が期待されたが、令和2年度以降6次産業化に対する活動は行われていない。活動は順調なものの感染症の影響により売上げに大きな影響があり、今後も厳しい状況が見込まれる。 ・「強い農業」「儲かる農業」「持続可能な農業」について、農業を取り巻く環境がかなり深刻な状況の中で、実際の施策の実現は困難な点もあるが今後、農家のニーズを再調査すると共に、町内外の事例の研究等による検討を実施する。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
⑤未実施	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
・6次産業化推進事業は、事業者の特産品開発事業補助金制度の活用が望まれるところであり、町広報誌により制度の周知に努める。 ・「強い農業」「儲かる農業」「持続可能な農業」についての施策の検討は、事業概要にもあるとおり農業を取り巻く環境がかなり深刻な状況である中で、実際の施策の実現は困難な点もあると考えるが、町内外の事例の研究等による検討を今後実施する予定である。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
⑤未実施	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-4
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1 (イ)雇用創出のための企業誘致、働く場所の確保	事業担当課・ 係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載 内容	①若い世代や子育て世代をはじめ、長和町への移住者、町内在住者の雇用を確保するため、空き家の活用も視野に入れながら、企業の誘致や雇用の拡大、良質な仕事の確保に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	企業誘致件数	1件	(5年累計)	累計1件	累計1件	累計1件		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	企業誘致のための情報収集、個別案件への対応							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	企業誘致は現実的に困難な状況にある。要望する企業等あれば積極的に取り組む。空き家を活用したサテライトオフィス等への誘致もあわせて取り組む。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	・令和2年度、2件誘致交渉していたが、1件不成立となった。また、もう1件は交渉中であるが、新型コロナウイルスの状況により滞っている。このコロナ禍で東京から地方へ移転する動きがあるなか、東京から本社を移した企業が1件あった。 ・令和3年度、交渉中である1件とは継続して話し合いを持っている。新たに工場立地候補地を探している企業が県を通じて照会があり、情報提供をしているが、マッチングには至っていない。 ・令和4年度、交渉中である1件とは継続して話し合いをもっていたが、可能性がかなり低いとの申し出があったことから、新たに興味を示している企業へ情報提供をしている。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
企業誘致は、広い場所の提供が必要となる場合が多く、団地造成等も考えなくてはならない状況にある。 地方を求めて移転するケースが増えているため、別荘地等も含めた誘致を検討する必要がある。 候補地を探している企業に対し、情報提供を続けていきたい。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
④地方創生に対して効果がなかった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
団地造成等を希望する事業者がある中、現状はその取り組みが難しいため、引き続き誘致に向けた取り組みを実施していく。 町内既存企業の要望等についても、積極的に対応していく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
④地方創生に対して効果がなかった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの 意見	・経営者懇話会でも各企業で人手不足という話が出ている。企業誘致ということも必要だが、地元にある企業で働くことができるような企業努力も必要。ただし、行政としても住民へのPR等をお願いしたい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-5
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1 (ウ)雇用創出・人材定着に関する企業への支援	事業担当課・ 係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載 内容	①人口減少や「売り手市場」の状況下、企業においても優秀な人材を確保することが重要な課題となっている中、雇用拡大や人材確保、人材の定着に積極的に取り組む企業等への支援を拡充します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	新規雇用促進助成金を活用して確保した人材数	20人	(5年累計)	累計2人	累計2人	累計3人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	新規雇用促進助成金事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内容)	町内の事業所による新規雇用の拡大を図るとともに、若年層の定住を促進するため、町内事業者が45歳未満の町民を正規雇用した場合に、採用した事業者に対し雇用1名につき10万円を交付する。ただし、1年以上継続して就業していなくてはならない。令和元年度までの事業を令和2年度以降、事業を拡充し実施する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	・令和2年度、1年間継続して就業した2事業所2名に対し、助成金を交付した。令和2年度から事業を継続実施していることを商工会を通じて周知をしているところである。 ・令和3年度、現状は助成金を交付はしていない。令和2年度中に新規雇用した事業者の確認及び事業内容の周知を商工会を通じて実施し、1事業所1名より申請があった。(支払は令和4年度となる。)また、雇用日より6月以内の申請であることから、申請漏れがないか、商工会を通じて周知したところである。 ・令和4年度、申請漏れ等がないか、商工会を通じて周知したところである。							
R2年度事業費	200	千円	主な支出 内容	新規雇用促進助成金補助 10万円×2名				
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	100	千円	主な支出 内容	新規雇用促進助成金補助 10万円×1名				
R5年度事業費	200	千円	主な支出 内容	新規雇用促進助成金補助 10万円×2名				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	人材確保や人材定着に関する支援策の検討(「わくわく地方生活実現パッケージ」の活用等)							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内容)	UIJターン就業・創業移住支援事業を県と協調して国の地域再生計画の認定を受けて実施している。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	・三大都市圏等から地方へ移住し、就業した世帯等へ助成をするもので、移住支援金を受給するには、企業がマッチングサイトに登録する必要があることから、町内企業に対し、商工会を通じて登録の周知をしているところである。 ・令和3年度、移住支援金について相談が4件寄せられている。(フリーランスの方4件) ・令和4年度、移住支援金1世帯が対象となったため、多世帯1,000千円の支給をした。令和4年度相談者2件より引き続き相談がある。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	1,000	千円	主な支出 内容	UIJターン就業・創業移住支援事業補助1件(多世帯1件1,000千円)				
R5年度事業費	3,200	千円	主な支出 内容	UIJターン就業・創業移住支援事業補助3件(多世帯2件2,000千円、単身1件600千円) 多世帯において18歳未満の子育て世帯の場合、1名300千円加算(2名分加算)				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
雇用対策として各企業及び世帯に対し、町内へ引っ越し、就業する一助となる事業である。移住につながる施策として、引き続きPRが必要。 移住支援金を個人事業主として受給したいケースが増えている。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	①事業の展開の将来性が高いので強化して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
新規雇用促進助成金事業について、町内企業の雇用確保をする上で、長和町商工会から内容の強化について要望いただいていることから、ニーズ把握し実施していきたい。 都会から地方へ移住する者のニーズが高まっている。よって、引き続きこの移住支援金制度を積極的にPRし、雇用対策及び移住支援につなげていきたい。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	①事業の展開の将来性が高いので強化して実施
委員からの意見	・雇用の定着、採用を促進する各企業に対する「働きやすさ・働きがいのある職場」作りの指導や、既にそのような優れた取り組みをする企業に対しては求職者へしっかりとPRを行うなど、積極的な対応が必要と思われる。 ・各種助成金の周知もなかなかされていないので力を入れて周知してほしい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-6
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1（エ）新規就農者の確保			事業担当課・ 係	産業振興課農政係			
総合戦略記載 内容	①担い手の高齢化が進展する中、次世代の農業を担う人材確保のため、新規就農里親制度の活用、希望者とのマッチング等新規就農者への支援を行い、新規就農者を確保します。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
認定新規就農者数		2名	（5年累 計）	累計0名	累計4名	累計4名		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	新規就農里親制度の活用							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	担い手に向けて里親制度を周知し、里親となってもらえるよう事業を推進していく。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	担い手が出席する会議等で関係する資料を配布するなど行っている。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	信州うえだファームの活用							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	上田市・青木村と共にNPAプロジェクト（定住自立権構想）を立ち上げ、信州うえだファームに専属コーディネーターを配置。新規就農希望者を募ると共に上小地域で就農できるよう支援を行っていく。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	信州うえだファームの修了生と農業大学校生徒との懇談などの活動を行い、希望する作目に応じて、当町の農地斡旋等を行った。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	6,780	千円	主な支出 内容	農業次世代人材投資事業4,500千円、長和町新規就農者等家賃補助金290千円、新規就農者支援体制整備事業1,335千円、農業機械施設導入事業655千円				
R4年度事業費	10,985	千円	主な支出 内容	農業次世代人材投資事業9,500千円、長和町新規就農者等家賃補助金150千円、新規就農者支援体制整備事業1,335千円				
R5年度事業費		千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業③（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	相談会等による希望者とのマッチング							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	新規就農相談会を行い、当町での新規就農者増を目指す。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、関東圏とのリモートでの就農相談会を行った。							

R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
R5年度事業費		千円	主な支出 内容	
R6年度事業費		千円	主な支出 内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】
新型コロナウイルスにより、対面や現地での就農相談会の実施ができなかったものの、個別での新規就農に対する対面相談を受けている。相談に対し支援することで、継続して新規就農者を呼び込めるよう、施策展開を図っていきたい。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
・「新規就農里親制度の活用」事業については、今後も引き続き担い手に制度の周知を図り、新規就農希望者の受入れ体制整備に努める。 ・「信州うえだファームの活用」事業については、引き続き信州うえだファームと連携して、新規就農希望者の希望する作目に合うほ場の選定等を行い、当町での新規就農者の増に務める。 ・「相談会等による希望者とのマッチング」事業については、相談会等を活用しながら、当町の情報を発信していくよう努める。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-7
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1 (オ)商工業の発展促進	事業担当課・ 係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載 内容	①町内の商工業者の更なる発展のため、商工会の支援のほか、「商工業発展促進事業」の制度の継続と見直しを図り、利用者がより制度を使いやすい体制を整備します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	「商工業発展促進事業」制度利用件数	25件	(5年累計)	累計0件	累計1件	累計2件		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	商工業発展促進事業(販路拡大補助等)							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内容)	町内商工業者の販路拡大、新商品・新製品開発、新技術開発に関する一部費用を支援し、生き残りをかけた商工業の今後の発展に寄与する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	・新型コロナウイルス感染症の影響により、出展等の催事が中止となることが多く、各企業が出展等できていない。産業展等がオンラインでの実施となる。事業者ニーズを把握するため、商工会から情報提供をお願いしているところである。 ・令和3年度、商工会より事業者ニーズとして、オンライン等での出展に係る経費等柔軟な対応のできる補助の要望があった。 ・令和4年度、現状の補助内容で柔軟に対応することで、事業者ニーズに即している状況が確認できた。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	100	千円	主な支出 内容	商工業発展促進事業補助(販路拡大事業100千円)				
R4年度事業費	100	千円	主な支出 内容	商工業発展促進事業補助(販路拡大事業100千円)				
R5年度事業費	202	千円	主な支出 内容	商工業発展促進事業補助(販路拡大事業200千円、新製品・技術開発支援及び専門家派遣は項目計上のみ)				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
町内の商工業に対し必要な支援である。産業展等のリアル開催が増えており、今後ニーズが活発化されると予想される。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
①地方創生に非常に効果的であった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
今後も、事業者の要望を踏まえ、柔軟な対応にて商工事業の発展促進を図ってまいりたい。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-8
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1（力）企業情報発信の強化	事業担当課・ 係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載 内容	①町内各企業の雇用についてのニーズを把握するとともに、人材を求める企業と就職を希望する方（新卒者、若者、子育て世代、町内在住者、移住希望者など）が結びつけられるよう、町内企業の情報発信等を、商工会、経営者懇話会、東信州次世代産業振興協議会、上田職業安定協会とも連携しながら進めます。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
企業情報サイトの活用による企業の 人材確保数		3名	（5年累 計）	累計0名	累計0名	累計0名		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	企業情報発信事業							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	就労支援体制の一環として、雇用についての情報発信を商工会ホームページにて実施している。町内各企業の雇用についてのニーズを把握するとともに、人材を求める企業と就職を希望する方が結びつけられるよう各種団体と連携を進める。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	商工会の事業に対する支援を実施している。 令和2年度、利用者及び会員事業者より、企業ガイドを商工会ホームページ内に集約した方がよいとの意見が多いなか、より見やすいページを心がけながら商工会ホームページ全般のリニューアルを実施した。ホームページ内に企業情報を集約し、業種別・地区別で閲覧できる機能とする等、利用者及び会員事業者にとってニーズに即した内容となった。 令和3年度も引き続き継続した取組みを行った。 令和4年度も引き続き継続した取組みを行った。							
R2年度事業費	300	千円	主な支出 内容	企業情報発信事業補助（商工会 300千円）				
R3年度事業費	300	千円	主な支出 内容	企業情報発信事業補助（商工会 300千円）				
R4年度事業費	300	千円	主な支出 内容	企業情報発信事業補助（商工会 300千円）				
R5年度事業費	100	千円	主な支出 内容	企業情報発信事業補助（商工会 100千円）				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
ホームページの内容が充実し、ニーズに即した内容となっている。実際にホームページをみて企業情報を得たという方もいたが、それがきっかけとなったかまでは確認できていない。ホームページを活用したPRは大変有効であると考えられるが、このサイトがきっかけで就職に結びついたかどうかを検証する必要がある。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）								
地方創生への効果			今後の取り組み方針					
①地方創生に非常に効果的であった			②事業を現行（計画）どおり継続して実施					
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載								
今後もニーズに即した情報発信を進めるとともに、各種団体と連携し人材を求める企業と就職を希望する者の結びつけを進めていきたい。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・商工会ホームページの雇用の発信にもうひと手間ほしい。検索サイトではヒットし難い様子である。工夫することで、効率よく商工会のHPにたどり着くことができると思う。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-9
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1 (キ)起業支援体制の充実・事業者の育成	事業担当課・ 係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載 内容	①創業支援事業計画に基づき、商工会と連携しながら、伴走型の支援により、きめ細かい創業支援を行い、起業しようとする人への支援を積極的に行います。また、事業承継に関し、支援策の検討を行います。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	長和町創業支援事業補助金を活用した企業数	5企業	(5年累計)	累計3企業	累計4企業	累計5企業		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	起業・創業支援事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	創業支援計画に基づいて起業・創業を目指す人材を支援するとともに、創業初期に係る経費の一部を助成する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、飲食業及び宿泊業の3事業者が新たに起業することとなり、創業支援計画に基づき商工会と連携し伴走型支援を行い、起業・創業支援事業補助金を交付した。 ・令和3年度、本助成金について2件相談があり、1件の起業・創業に結びついた。 ・令和4年度、1件相談があり、企業・創業に結びついた。							
R2年度事業費	1,500 千円	主な支出内容	起業・創業支援事業補助1件50万円×3企業					
R3年度事業費	500 千円	主な支出内容	起業・創業支援事業補助1件50万円×1企業					
R4年度事業費	493 千円	主な支出内容	起業・創業支援事業補助1件(対象経費の1/2補助 上限50万円 実績により支出)					
R5年度事業費	500 千円	主な支出内容	起業・創業支援事業補助1件50万円×1企業					
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	事業承継支援施策の検討							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	企業代表者の高齢化により事業承継は各企業において近々の課題であることから、事業承継ができるような支援策について検討する必要がある。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	商工会と連携し、支援策の検討を進めている。							
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R4年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R5年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・既企業者について、今後も伴走支援をしていく。また、新規にて起業したい者からの相談等を積極的に受け入れたい。 ・事業承継は近々の課題であることから、支援策の検討を今後も進めていく必要がある。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
今後とも引き続き商工会と連携し、伴走支援等を実施していきたい。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	1-10
------	------------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標1（ク）森林環境譲与税を活用した森林整備の促進 による林業者への支援			事業担当課・ 係	産業振興課林務係			
総合戦略記載 内容	①森林環境譲与税を活用し、森林整備を進め、町内の林業事業者の支援、育成を行います。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
森林環境譲与税を活用した森林整備体制の検討、整備の実施		整備の実施	(R6時点)	意向調査 実施	意向調査 復旧工事 樹種転換	意向調査 復旧工事 樹種転換		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 令和2年度: 意向調査の実施、令和3年度から令和5年度: 意向調査の実施及び災害復旧工事の実施、令和6年度: 意向調査の実施及び森林整備の実施。								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	森林環境譲与税を活用した森林整備体制の検討、整備の実施							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	森林環境譲与税の使途が、森林整備及びその促進に関することであるため、森林整備に関連する林道の復旧を進め、公道沿いの森林部分整備(倒木による被害が想定される範囲)などを検討する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	令和元年、令和3年と豪雨による林道施設の災害が続き、森林整備につながる林道の復旧を進めてきた。 新たな森林整備体制としては、マツ食虫被害林の樹種転換事業に対し1割の嵩上げ補助を行い樹種転換事業の推進を行った。							
R2年度事業費	7,991	千円	主な支出 内容	災害復旧工事(赤沢、不動沢、仙ノ倉、大沢、七曲、東沢、望地、唐沢の国庫補助及び起債対象外被災被害箇所)				
R3年度事業費	6,908	千円	主な支出 内容	災害復旧工事(大日陰、大呂出、中呂出、戸陰沢、不動沢、牛首、大沢、東沢、赤倉、芹沢、狐穴、望地、町単、起債対象外被災被害箇所) 樹種転換 嵩上げ補助				
R4年度事業費	9,268	千円	主な支出 内容	災害復旧工事(大出、窪城、千ノ倉、本沢)				
R5年度事業費	7,280	千円	主な支出 内容	災害復旧工事(本沢) 林道改修工事(馬込、湯ノ入、栗生、芹沢(和田))				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	広域連携上小モデル事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	森林経営計画の立てられていない山林の現況調査と所有者の調査を行い、説明会と意向調査により経営計画を立て森林整備を推進する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	森林経営計画の立てられていない山林の現況調査と所有者の調査を行い、令和2年度には和田上ノ山の現地調査と意向調査を行った、令和3年度には大門の戸ノ脇で現地調査を実施、適正な管理がされており調査箇所を変更、令和4年度は和田上ノ山北側の現地調査と意向調査を実施予定。							
R2年度事業費	2,180	千円	主な支出 内容	森林管理制度広域連带上小モデル実証事業負担金				
R3年度事業費	996	千円	主な支出 内容	森林管理制度広域連带上小モデル実証事業負担金				
R4年度事業費	644	千円	主な支出 内容	森林管理制度広域連带上小モデル実証事業負担金				
R5年度事業費	1,270	千円	主な支出 内容	森林管理制度広域連带上小モデル実証事業負担金				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
森林環境譲与税を活用した森林整備促進の一環として、林道の災害復旧を推進し間伐、皆伐など実施できた箇所がある一方で、災害には認定されていないが改修が必要な林道があり、今後計画的に改修を行っていく必要がある。 樹種転換事業は現在町の東側の山林(樹種転換を想定した計画範囲)で行っているが、有坂地域を中心とした西側の被害木が増えており、計画範囲の見直しを行い、樹種転換を行える山林範囲の拡大が検討課題となってきた。 現地調査が、人手不足、日程調整等により予定どおり進捗しないため、民間事業者へ委託が必要になっている。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
森林管理制度広域連帯上小モデル実証事業は、当初の広域での森林経営管理の検討から、森林環境譲与税を活用した森林整備実施と検討となった、他市町村の事例と効果等を長和町の森林整備の参考としていく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-1
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2（ア）地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	事業担当課・係	産業振興課商工観光係
総合戦略記載内容	①長和町にある様々な観光資源となりうる地域資源（自然環境、中山道長久保宿・和田宿や日本遺産に認定された星麓峠黒耀石原産地遺跡等の歴史遺産、おたや祭等の地域に伝わる伝統文化、スキー場、町内各施設等）を活かした観光振興のため、観光地域づくり法人（日本版DMO）についても研究しながら、町全体での観光プロモーションに取り組みます。		

重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
町全体での観光プロモーション活動の検討、施策の実施	施策の実施	（R6時点）	検討中	検討中	検討中		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 令和2年度：協議会の設立2団体、令和3年度：協議会に関する活動支援2団体、令和4年度：DMO・DMCへの移行2団体、令和5年度：観光プロモーションに伴う旅行商品の作成1商品、令和6年度：観光プロモーションに伴う旅行商品の作成1商品							

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）							
事業名	町全体での観光プロモーション活動の検討、観光地域づくり法人（DMO）の設立についての検討						
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	観光協会が主体となり、地域資源を活かした町全体の観光プロモーションに取り組む。その先に観光地域づくり法人（日本版DMO）の設立がみえてくるような取り組みをする。						
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度、新型コロナウイルス感染症感染拡大により誘客活動が見通せないなか、「長和町の魅力向上と情報発信」を重点を置き観光プロモーションに取り組んできた。また、スポーツによる地域活性化推進として、「長和町スポーツコミッション」を立ち上げた。また、ピーナスライン周辺のスキー場及び関係行政にて「Eight Peaks Resort」協議会を立ち上げ、茅野市・立科町・長和町のスキー場の通年利用に向けた取り組みを始めた。 ・令和3年度、この2つの協議会の支援を実施した。長和町スポーツコミッションについては、国庫補助事業に採択され、運営費を支援した。 ・令和4年度、この2つの協議会の支援を実施している。「Eight Peaks Resort」協議会は、DMC（DMOの会社版）の設立に向け準備している。長和町スポーツコミッションについては、国庫補助事業に採択され、運営費を支援している。						
R2年度事業費	1,116	千円	主な支出内容	スポーツコミッション立ち上げに関する補助金（全額国庫補助）			
R3年度事業費	9,869	千円	主な支出内容	スポーツコミッション運営に関する補助金（全額国庫補助）			
R4年度事業費	9,268	千円	主な支出内容	スポーツコミッション運営に関する補助金（全額国庫補助）			
R5年度事業費	0	千円	主な支出内容	スポーツコミッション運営に関する補助金（全額国庫補助）※現在、補助申請中			
R6年度事業費		千円	主な支出内容				

上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】
観光地域づくり法人の設立については観光協会にて研究検討を重ねているが、ニーズが多岐にわたる。「長和町スポーツコミッション」のほか、ピーナスラインエリア（広域）で設立した「Eight Peaks Resort」協議会を支援し、DMO・DMCへの移行等、町全体での観光プロモーション活動へつなげていく。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行（計画）どおり継続して実施
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載	
引き続き観光プロモーション活動及び施策の検討を実施していく。また、長和町スポーツコミッションは地域の皆様に認識をしていただけるよう、地域スポーツにも積極的に関わりを持つとともに、活動について広く周知してまいりたい。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行（計画）どおり継続して実施
委員からの意見	・田舎の資源を活用した都市部からの人の流れを作る施策の充実をお願いしたい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-2
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2（ア）地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	事業担当課・係	産業振興課商工観光係・農政係、企画財政課まちづくり政策係					
総合戦略記載内容	②ビーナスラインやご当地そば等、共通の観光資源を持つ他自治体との連携により、広域的な人の流れを生み出します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
他自治体と連携して取り組む新規事業数		3件	(5年累計)	累計2件	累計2件	累計3件		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	ビーナスライン広域連携事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	県、ビーナスライン沿線市町村及び観光協会等が参画し、ビーナスラインをキーワードに各観光地を結び広域的なビジョンのもと、戦略的なつながりによる誘客、環境整備、自然保護等他エリアとの差別化を図り、地域間のブランド化と交流人口の増加を結びつける。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度は、ホームページによる情報発信、レンタカー利用者に周遊促進事業モニタリング調査、観光目線での施設改善要望（県建設部）、新規事業として、自転車に着目し誘客を図るため、サイクルスタンドを各所へ設置した。（町内8箇所）（この新規事業1件をKPIにおける実績とした。） ・令和3年度は、令和2年度と同様にホームページによる情報発信、観光目線での施設改善要望を実施した。新規事業で、警備会社アルソックと信州大学人文学部との協働事業にて計画をしていた人流に関するモニタリング調査及び情報発信について、新型コロナウイルス感染症の影響により、次年度以降へ延期したため、継続事業のみの実施となった。 ・令和4年度は、ホームページによる情報発信、SNSによる情報発信、観光目線での施設改善要望を実施した。新規事業で、電子スタンプラリーを実施した。。							
R2年度事業費	420	千円	主な支出内容	事業負担金として協議会へ支出（協議会全体事業費 6,700千円）				
R3年度事業費	420	千円	主な支出内容	事業負担金として協議会へ支出（協議会全体事業費 6,700千円）				
R4年度事業費	0	千円	主な支出内容	事業負担金として協議会へ支出（協議会事業費を前年度繰越にて対応）				
R5年度事業費	420	千円	主な支出内容	事業負担金として協議会へ支出（協議会全体事業費 6,700千円）				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	青木村と連携したご当地蕎麦イベント事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・2町村だけが残った長野県小県郡に注目し、青木村と長和町が共同で両町村の蕎麦（「タチアカネそば」、「ダッタンそば」）を活かした蕎麦イベントを実施する。蕎麦のPRのほか、観光PRや移住相談もあわせて行う。これまで、埼玉県や軽井沢プリンスショッピングプラザにおいて実施。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、イベント開催の可否やどこで実施するのか、イベントを開催できない場合にはどうするのか等、青木村と調整し実施していく。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催は見送り、両町村のご当地蕎麦を切り口に、長野県内に向けてのPRを実施した。ラジオでのPR：SBCラジオおいしい秋の大感謝祭！での両町村道の駅からのタレントレポート。テレビでのPR：テレビ信州でのCM放映、グルメ番組（美味しさへの旅）制作。これにより、KPIにおける新規事業1件とした。 ・令和3年度は、令和2年度に実施したラジオ・テレビCM、グルメ番組の制作等に加え、テレビでのプレゼント企画：SBC（HOT情報）・テレビ信州（Fresh）を実施した。また、テレビ信州ゆうがたGet！内コーナーでダッタンそばのPRを実施した。 ・令和4年度は、アリオ上田でのイベント実施の計画がされたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により断念した。9月～12月にかけて、令和3年度と同様にラジオとテレビでのCM、グルメ番組の制作、テレビでのプレゼント企画等によるPRを実施した。							

R2年度事業費	700	千円	主な支出 内容	信州小県ご当地蕎麦イベント負担金(青木村へ)700千円
R3年度事業費	1,050	千円	主な支出 内容	信州小県ご当地蕎麦イベント負担金(青木村へ)1,050千円
R4年度事業費	700	千円	主な支出 内容	信州小県ご当地蕎麦イベント負担金(青木村へ)700千円
R5年度事業費	1,250	千円	主な支出 内容	信州小県ご当地蕎麦イベント負担金(青木村へ)1,250千円
R6年度事業費		千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
①ビーナスライン広域連携事業は、広域にて実施することによりスケールメリットを活かした事業となった。 ②青木村と連携したご当地蕎麦イベント事業は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中での連携した取組みを検討した。これまでの主なターゲットは、首都圏の方だったが、長野県内の方に方向転換し、テレビ・ラジオによるPRを行うこととした。マスメディアの活用により、小県地域への誘客を行った。長和町では、ダッタンそばやマルシェ黒耀のPRにもつながった。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載				
①ビーナスライン広域連携事業は、単独で誘客するよりビーナスラインをキーワードにスケールメリットを活かした事業であることから、効果的な事業展開を図ることが必要である。今後、既存事業に加え、新規事業を有効に活用していく。 ②青木村と連携したご当地蕎麦イベント事業は、両町村それぞれの特徴的な蕎麦を活かしたイベント等の取組みにより、両町村の知名度向上及び小県地域への誘客につながるものである。引き続き青木村と協議を行い、社会情勢に適した事業展開を図る。令和5年度は、飲食を伴うイベントの実施を予定している。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-3
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2 (ア)地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	事業担当課・ 係	産業振興課商工観光係、情 報広報課情報広報係					
総合戦略記載 内容	③訪日外国人旅行者の受入れ体制・環境整備について、観光協会と連携し研究を進め、訪日外国人客に対応可能な人材の育成とプロモーションの強化に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	長和町コンシェルジュ認定人数	20人	(5年累 計)	累計2人	累計4人	累計6人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	長和町コンシェルジュ(ガイド)育成事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	訪日外国人旅行者の受け入れ体制に資する事業として、人材育成を行う。月2回の講習にて、単なる英会話ではなく、町の魅力を英語で旅行者へ案内でき、いずれは観光ガイドが事業としてできるような人材を育成する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・令和2年度、中山道、日本遺産の講習を中心に月2回ずつ実施し、コンシェルジュとして2名認定した。 ・令和3年度、中山道、日本遺産の講習を中心に月2回ずつ実施し、コンシェルジュとして2名認定した。 ・令和4年度、中山道、日本遺産の講習を中心に月2回ずつ実施。現地視察(町内・町外)を計3回実施した。							
R2年度事業費	359	千円	主な支出 内容	コンシェルジュ育成事業経費 (講師謝礼300千円、講師旅費15千円、需用費44千円)				
R3年度事業費	364	千円	主な支出 内容	コンシェルジュ育成事業経費 (講師謝礼310千円、講師旅費18千円、需用費36千円)				
R4年度事業費	431	千円	主な支出 内容	コンシェルジュ育成事業経費 (講師謝礼370千円、講師旅費18千円、需用費43千円)				
R5年度事業費	468	千円	主な支出 内容	コンシェルジュ育成事業経費 (講師謝礼400千円、講師旅費24千円、需用費44千円)				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
現在、13名の者がコンシェルジュ認定者となっている。単なる英会話ではない、町の魅力を旅行者に案内できる人材育成ができています。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
訪日外国人旅行者を呼び込むことが見通せるようになり、今後も人材育成を行っていく。また、単なる英会話ではなく町の魅力を発信するための講習をしており、日本人向けにも案内ができることから、ニーズに沿った事業展開を図る。エージェンツ(旅行会社)に対し、商品造成の一つとしていただくよう、営業していく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの 意見	・長和町コンシェルジュを観光業の付加価値向上につなげて、着地型の「高付加価値商品」の構想企画なども求められる。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-4-1
------	------------	------	-------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2 (イ) 空き家の活用による交流人口の増大			事業担当課・ 係	企画財政課まちづくり政策係			
総合戦略記載 内容	①町内にある空き家を活用した新たな価値の創出(企業のオフィスやカフェなど)に取り組みます。また、町内の既存空き家を活用して整備した「長和町田舎暮らし体験住宅」の利活用を図り、町への移住者を呼び込むきっかけとします。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
田舎暮らし体験施設利用件数		15件	(年間)	3件	0件	16件		
移住・定住件数		3件	(年間)	0件	0件	1件		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	長和町田舎暮らし体験住宅整備事業【地方創生拠点整備交付金事業】(平成29年度)							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	・平成29年度に地方創生拠点整備交付金事業として、和田青原地区の空き家を活用した移住希望者が利用できる田舎暮らし体験住宅を整備した。第2期総合戦略期間中は、整備した施設の有効活用を図る。 ・整備した田舎暮らし体験住宅を活用し、移住・定住者の増加につなげるよう、移住セミナーでのPRや移住体験セミナーでの利用を進める。また、スポット的なイベントでの利用や、地域住民の活動時に利用していただくなど、利用者がいない期間の有効活用も進める。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・整備した施設の具体的な利活用状況は、取り組み事業②「長和町田舎暮らし体験住宅運営事業」記載のとおり。							
(参考)H29年度 事業費	19,580 千円	主な支出 内容	設計監理委託(810千円)、施設改修工事(16,934千円)、パンフレット作成(540千円)、施設用備品等(1,296千円)					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	長和町田舎暮らし体験住宅運営事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	移住希望者が田舎暮らし体験住宅を利用して実際に長和町に滞在する事で、長和町の自然や環境などの魅力を直接感じてもらい、移住した時のイメージ作りをしてもらう。また、地域おこし協力隊などとも連携し、利用者にいろいろな情報提供や町内案内、空き家バンク物件の見学等も勤めながら、実際の移住に結びつける。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は利用者が低迷し、令和3年度は前年途中から受入を停止したことから皆無であった。R4年度は受け入れを再開し、移住セミナーでパンフレットの配布や宣伝等を行った。							
R2年度事業費	320 千円	主な支出 内容	消毒スプレー等消耗品45,181円、光熱水費等維持管理費274,665円					
R3年度事業費	856 千円	主な支出 内容	建物修繕費(建具交換)549,700円、光熱水費等維持管理費306,239円					
R4年度事業費	327 千円	主な支出 内容	光熱水費等維持管理費289,406円、建物修繕費37,663円					
R5年度事業費	1,639 千円	主な支出 内容	光熱水費等維持管理費660,000円、建物修繕費100,000円、施設管理委託料720,000円					
R6年度事業費	千円	主な支出 内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策: KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
新型コロナウイルス感染症の流行による二拠点生活の需要増加に伴い、多くの移住検討者に利用された。しかし観光目的の利用者も多いため、体験プログラムや移住相談等を設け、本気度の高い移住検討者が利用できる仕組み作りが必要である。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
単身移住者向けの住居が少ないことから、令和5年度からシェアハウス機能を追加した長和町シェア型移住体験施設NAUとして運用を開始する。。地域おこし協力隊員依田隊員・上野隊員が立ち上げたナワメ社にイベント企画や募集業務などの管理運営を委託し、さらなる活用を行っていく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-4-2
------	------------	------	-------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2 (イ) 空き家の活用による交流人口の増大	事業担当課・ 係	企画財政課まちづくり政策係					
総合戦略記載 内容	①町内にある空き家を活用した新たな価値の創出(企業のオフィスやカフェなど)に取り組みます。また、町内の既存空き家を活用して整備した「長和町田舎暮らし体験住宅」の利活用を図り、町への移住者を呼び込むきっかけとします。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	空き家の整備による新たな価値の創出のための整備件数	1件	(5年累計)	累計0件	累計0件	累計0件		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	空き家活用団体と連携した空き家整備事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	空き家活用団体等への補助や空き家の情報提供・発信を行い、空き家を活用した新たな価値の創出(企業のオフィスやカフェなど)に取り組む。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み 内容	空き家活用団体等へ向け、空き家バンクと連携し、空き家の情報提供・発信を行った。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策: KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
第2期の計画内で、町の補助事業を活用した空き家を活用した団体はないが、県の補助金を活用して空き家の改修を実施している団体がある。 和田宿に面する古民家を再生し、起業する場と娯楽や文化を楽しめる場を目的に令和5年度中のオープンに向けて改修中である。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
空き家を改修して新たな価値を創出していくことは、地域の活性化に直結する取り組みであり、地方創生としての魅力的でなものとなることから、情報提供や発信に努め、活用団体の発掘に繋げる。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの 意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-5
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2 (イ) 空き家の活用による交流人口の増大	事業担当課・ 係	企画財政課まちづくり政策係
総合戦略記載 内容	②長和町空き家情報登録制度(「空き家バンク」)を更に充実させるために、貸手と借り手のニーズを把握した上で、積極的にマッチングを行い、成約件数の増加を図ります。また、移住相談を通じて移住しようとしている人のニーズを的確に把握し、長和町の地域資源とのマッチングを図り、移住者の増加を目指します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
長和町空き家情報登録制度(「空き家バンク」)新規登録件数	15件	(5年累計)	累計4件	累計11件	累計23件		
長和町空き家情報登録制度(「空き家バンク」)に登録された物件の売買等成立件数	10件	(5年累計)	累計6件	累計10件	累計23件		
移住相談件数	100件	(5年累計)	累計68件	累計119件	累計193件		

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	空き家バンク制度運営						
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	空き家バンク制度の運営により、成約件数を増やす事で、移住・定住者の増加を図ると共に、空き家の解消に結び付けていく。						
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	空き家バンクホームページを運用し、空き家の情報発信を行い、宅地建物取引業者と協力し物件見学等に対応した。R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により見学を受入停止していたが、R4年度は感染状況を踏まえながら案内を再開した。二拠点居住やテレワークの普及により成約件数は伸びている。						
R2年度事業費	2,958	千円	主な支出内容	空き家改修費補助金 2件			
R3年度事業費	1,056	千円	主な支出内容	空き家改修費補助金 2件			
R4年度事業費	2,683	千円	主な支出内容	空き家改修費補助金 4件			
R5年度事業費	1,100	千円	主な支出内容	空き家改修費補助金			
R6年度事業費		千円	主な支出内容				

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	首都圏等での移住相談						
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	首都圏等での移住相談を実施する事により、移住希望者に対し町の魅力をPRし、長和町への訪問(田舎暮らし体験住宅の利用や空き家バンクの物件見学など)や長和町の知名度向上を図り、実際の移住・定住者の増加へと結び付けていく。						
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	新型コロナウイルス感染症の影響により現地またはオンラインで移住イベントを開催するようになった。上田地域4市町村合同でイベントに参加し、長和町の魅力発信に取り組んでいる。令和4年度、上田地域で5回、長和町単独で1回移住セミナーに参加した。						
R2年度事業費	100	千円	主な支出内容	イベント参加等への負担金100,000円			
R3年度事業費	105	千円	主な支出内容	イベント参加等への負担金105,000円			
R4年度事業費	110	千円	主な支出内容	イベント参加等への負担金110,000円			
R5年度事業費	110	千円	主な支出内容	イベント参加等への負担金110,000円			
R6年度事業費		千円	主な支出内容				

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
・空き家バンク制度運営事業に関して登録件数、成約件数及び移住相談件数共にKPIを達成した。引き続き物件の掘り起こしを進めていく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により様々な開催形式・テーマで移住イベントが開催されるようになった。首都圏等での移住相談において、まだまだ長和町への認知度が低い状態である。相談件数は年々増加し実際に長和町にお越しになり、町内を案内をすることもあるが、移住には繋がっていない。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
②地方創生に相当程度効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
・空き家バンク制度運営事業に関して、成約件数は増えたが、掲載物件が少なくなっているため、登録件数を増やすことが今後の課題である。令和4年度に実施した空き家の実施調査を活用し、空き家の掘り起こしを進めていく。 ・首都圏等での移住相談事業に関して長和町の魅力や特色と絡めた情報発信を行っていく。シェアハウス機能を追加した田舎暮らし体験も併せてPRし、単身者の移住にも繋げていく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
②地方創生に相当程度効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-6
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2（ウ）若い世代の定住人口増大のための支援	事業担当課・ 係	建設水道課建設耕地係					
総合戦略記載 内容	①立岩落合住宅団地の販売を積極的に進めるとともに、若い世代のニーズを把握した上で、新たな宅地の造成についても検討します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	立岩落合住宅団地区画販売数	完売	(R6時点)	1区画販売 (残1区画)	1区画販売 (残2区画)	2区画販売 準備中		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	立岩落合住宅団地に関する販売のための広告宣伝							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	町のホームページや広報誌にその都度情報を掲載し、完売に向けた宣伝を行う。 造成した18区画のうち16区画が販売済みで、残り2区画についてはR4年度に販売を開始する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	町ホームページにて販売に向けた宣伝を行った。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費		千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	新たな宅地造成の検討							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	現在売れ残っている土地(立岩落合団地2区画、和田細尾団地3区画)の販売を優先し、販売方法について検討していきたい。細尾団地については、住宅メーカーに売却し、建売住宅のような形式で販売する等、今までに取り組んでいない販売方法も検討していく。新たな宅地造成については、売れ行きが好調である立岩や、新和田トンネル無料化に伴う諏訪圏からの移住を目的に和田地域への宅地造成を検討していきたい。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	令和3年度に立岩落合住宅団地で宅地造成工事を行い、売れ残り1区画の改良と新規で1区画造成した。売れ行きが良い立岩で大規模な宅地造成の検討を行った。令和4年度に登記を完了し、販売方法及び単価等の検討を行った。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費		千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で出てきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
- 区画購入者のほとんどは町内の若者向けアパートに住んでいた世帯で、人口流出の減少につながった。 - 新たに造成した2区画の販売に向けて検討を行った。来年度から販売を再開し、人口増加を図る。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
引き続き、町ホームページ及び広報等の情報媒体を活用し、完売に向けた宣伝・PRを行う。 細尾団地については、町営住宅の建設等候補として検討を進め、早期販売に努めたい。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-7
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2（エ）国際交流の推進による交流の活発化と人材育成	事業担当課・係	総務課総務係(国際交流)、 教育課文化財係					
総合戦略記載 内容	①英国セットフォード町と長和町との地域間交流を継続して実施することで人の交流を活発にします。あわせて、町内の中学生と高校生で構成される長和青少年黒耀石大使を継続して育成し、地域に誇りを持ち国際感覚を備えた、地域の未来を支える人材の育成に取り組みます。また、海外に向けて長和町の情報を発信します。							
重要業績評価指標 (KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	国際交流活動への参加人数	500人	(5年累計)	累計20人	累計90人	累計160人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
	事業名	長和町青少年海外派遣交流事業						
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	・英国セットフォード、ブレックランド地域と長和町との地域間交流を継続して実施することで、人的交流を活発にする。併せて、町内の中学生高校生で構成される「長和青少年黒耀石大使」を継続して育成し、地域に誇りを持ち、国際感覚を備えた、地域の未来を支える人材の育成に取り組む。また、海外に向けて長和町の情報を発信する。 ・新型コロナウイルスの収束を見定めながらであるが、令和5年度には3期生と4期生の英国・オランダ渡航を実施し、以降も「長和青少年黒耀石大使」の英国渡航交流事業を継続する。 ・地方創生応援税制等の活用に向けて令和5年度中に総合戦略を元にした「地方再生計画」を申請し、継続的な事業実施が可能となるよう財源確保と併せて、制度の調整などを進めていく。 ・ポストコロナの人流の回復にあわせて、海外の博物館関係者、考古学研究者およびセットフォードとの交流関係者を招待し、「星くそ館」を中心とした国際ワークショップイベントを開催する。また、これまでに蓄積した様々な英語資料を活用し、海外でのワークショップおよび研究者や博物館関係者との交流も積極的に推進する。							
	・町の特色ある歴史遺産である「黒耀石」を仲立ちとした、英国セットフォードおよびブレックランド地域との国際交流事業は、交流推進のベースとなる英国諸機関との研究・教育交流協定締結によって、また、両地域の一般市民によって構成される実行委員会の設立により、中学生・高校生同士の活発な交流や、一般市民の交流事業への参加をもたらした。 ・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染継続と世界情勢の不安定化のため、「長和青少年黒耀石大使」3期生および令和3年に結成した4期生の英国オランダ渡航は、令和5年度へ延期となっている。研修などは状況に応じてオンラインを交えて行うなど、大使たちの意欲維持のための工夫をすると同時に、5期生以降の継続的な大使募集が可能となるように、準備を進めている。 (令和3年度) ・学術交流協定を結んでいるセインズベリー日本芸術研究所開催の「第3木曜講演会 Third Thursday Lecture」において、羽田町長と大竹学芸員が「星くそ館」から、講演者であるサイモン・ケイナー所長とzoomでのインタビューに応じ、これまでの黒耀石と縄文文化を介した英国との国際交流の取り組みと成果とともに、「星くそ館」の紹介を世界に向けて発信した。 ・「東芝国際交流財団」の助成により、星黄峠縄文黒耀石鉱山についての英語版発掘調査報告書「HOSHIKUSO」を作成。この報告書の完成により、コロナ感染収束後に再開する予定の国際的な学術交流において、海外の研究者及び研究機関とのさらに発展的な交流が展開することが期待できる。年度末に勃発したロシアによるウクライナへの軍事侵攻という事態を受けて、黒耀石大使および保護者に向けた説明会を開催し、あわせて研修会として、東海大学名誉教授である近藤秀夫先生による特別講演会を実施した。 (令和4年度) ・黒耀石大使の研修:大使たちのモチベーション維持、およびシーボルト学習を深めることと英語でのプレゼンテーション発表の場を設ける目的で、8月17日から20日の日程で長崎への宿泊研修を実施した。事前研修を経て、長崎では県立の歴史文化博物館の講堂を会場とし、長崎大学はじめ、九州在住の研究者、オランダのライデン市と姉妹都市提携している長崎市国際交流課職員らを聴衆として、英語でのプレゼンテーションを行い、講評をいただいた。研修の成果については、9月17日に町の理事者、国際交流実行委員会の代表委員、町議会社会文教委員長の前で報告会を実施した。事前研修および長崎でのプレゼンテーションと報告会の様子についてはYouTubeで公開し、ティーンエイジヒストリークラブとの交流の一助とした。 ・シーボルト資料の事前調査:東芝国際交流財団助成事業として、11月に研究者によるオランダ訪問を実施し、ライデンのナチュラリス生物多様性センター所蔵の「シーボルト・コレクション」に含まれている黒耀石資料について、蛍光X線機器を用いた産地推定分析を実施したが、その結果、「和田峠ホシクソ」と記載のある黒耀石資料のうち、少なくとも1点は和田・鷹山産であることがわかった。この結果を踏まえて、令和5年度に再度、研究者がオランダを訪問し、考古学的な計測および図化作業を実施するため、同財団に新たな助成申請を行うこととした。計測作業には、黒耀石大使も参加する計画である。 ・令和5年度国際交流事業に向けての準備:セインズベリー日本芸術研究所所長のサイモン・ケイナー教授が9月に来町し、「星くそ館」見学と併せて町長と面会した。その中で、同研究所とイングリッシュ・ヘリテージが関わっている、ストーンヘンジでの日本の縄文文化を紹介するイベントへの黒耀石大使の参加の提案をいただいた。この提案については、令和5年3月に、再度ケイナー教授がストーンヘンジを管轄するイングリッシュヘリテージ関係者を伴って長和町に訪れ、令和5年8月の訪英時に合わせ、ストーンヘンジにおいて黒耀石大使による石器作りワークショップを開催することが決定された。 なお、訪英のスケジュールと交流先であるセットフォードにおける受け入れ体制については、11月のオランダ訪問に合わせてセットフォードのエンシェントハウス博物館を訪ね、学芸員のオリバー・ポーン、メリッサ・ホーカー両氏と、打ち合わせを実施している。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容								

R2年度事業費	178	千円	主な支出 内容	需用費 125、役務費 53
R3年度事業費	1,055	千円	主な支出 内容	報酬 7、報償費 210、旅費 90、需用費 71、役務費 20、委託料 650、使用料 7
R4年度事業費	4,359	千円	主な支出 内容	報償費 140、旅費 3960、需用費 127、役務費 95、使用料 37
R5年度事業費	17,776	千円	主な支出 内容	報償費210、旅費14,737、需用費989、役務費490、使用料1,150、委託料50、印刷製本費150
R6年度事業費		千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
総合戦略第1期開始時点から、特に平成28年度と平成30年度の長和青少年黒耀石大使1期生、2期生の活動により、当事業の効果と期待は非常に大きなものとなっている。総合戦略第2期開始早々始まった新型コロナウイルス感染症とそこに追い打ちをかけるロシアによるウクライナ侵攻などが交流事業の実施に与えた影響は非常に大きい、その中でも黒耀石大使3、4期生の活動はリモートミーティングなどを積極的に利用しながら実施してきた。子供たちの交流再開に先駆けて、英国からの研究者・博物館関係者の来町と、考古学研究者によるオランダ・英国渡航を実施し、令和5年度の黒耀石大使の渡航と若者同士の交流再開に向けた筋道が整えられた。 コロナ禍により、日英両国の旅行業界の負ったダメージは非常に大きく、立て直しには時間がかかると思われる。またウクライナ侵攻等を要因とする物価の上昇・円安により、渡航関係費の値上がりや先行きの不安定さも続くことが考えられる。このことも踏まえ、かねてより話題には出していた「地域再生計画」の申請を令和5年度中に行い、それに伴う助成金や「地方創生応援税制」の活用などをめざす。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載				
令和5年度は3年にわたって延期となっていた黒耀石大使3、4期生のオランダ英国渡航を実施する。 長和町青少年海外派遣交流事業による「長和青少年黒耀石大使」の募集および海外渡航は隔年での実施事業であるが、事業計画に則ると、令和5年度は黒耀石大使5期生の募集年となっている。国際交流事業実行委員会および事務局としては、計画通りに令和5年夏以降に黒耀石大使5期生の募集を実施する予定である。また、5期生の募集と彼らの令和6年度の英国渡航事業を前提として、令和5年度中に「地域再生計画」を申請し、「地方創生応援税制」等の活用を考えている。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・インターネットで黒耀石大使について調べてみると、記事や活動動画のリンクなど効率的に情報収集することができた。 Youtubeでは子どもたちが活動を通じて教養を身につけている姿も魅力的に映っていた。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-8
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2（オ）情報発信体制の強化	事業担当課・ 係	情報広報課情報広報係
総合戦略記載 内容	①長和町の知名度の向上や必要な人に必要な情報が届くよう、これまでの情報発信のあり方について見直し、様々なメディアやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用など、時代に即した情報発信の方法を検討し、実施します。また、FMとうみアプリを使った情報発信を充実します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
情報発信体制の検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	my daiz 運用開始	地域おこし協 力隊独自SNS 運用開始	導入済み媒 体の継続運 用中		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 ・DOCOMO提供の携帯アプリ「my daiz」の運用 ・SNSによる情報発信							
FMとうみアプリ登録者数	5,000件	(R6時点)	通常 6,595件 防災 6,719件	通常 8,433件 防災 8,578件	通常 9,170件 防災 9,310件		

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	情報発信体制の検討事業		
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	(1) NTTドコモ提供アプリ「my daiz」の無料サービスの運用を開始したことにより、黒耀石に関する施設や事業を中心とした観光部門に特化した情報を発信していく。 (2) Facebook・Twitterの運用を継続実施していく。 (3) 上記に加え、令和3年3月に着任した地域おこし協力隊員が運用するSNS等とも連携していく。		
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	(1)令和3年2月17日付けで運用を開始し、現在運用中 (2)放送依頼に従い、町公式Facebook・Twitterでの情報発信 (3)令和3年3月に着任した地域おこし協力隊員によるYoutube・Facebook・Twitter・Instagramでの情報発信		
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容
R6年度事業費		千円	主な支出 内容

取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	FMとうみ放送委託事業		
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	事業担当係からの依頼に基づき、下記により情報を発信していく。 (1) ラジオ番組放送(毎日 7:50AMから5分間専用番組) (2) アプリによる文字配信(通常のお知らせ、防災情報)		
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	同上		
R2年度事業費	1,463	千円	主な支出 内容
R3年度事業費	1,463	千円	主な支出 内容
R4年度事業費	1,463	千円	主な支出 内容
R5年度事業費	1,463	千円	主な支出 内容

R6年度事業費	千円	主な支出 内容
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)		
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策: KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】		
①Facebook・Twitterは引き続き利用していく ②利用者が増えているので情報の多重化の観点から引き続き利用していく		
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)		
地方創生への効果		今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった		③事業内容を見直して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載		
①情報発信体制においては、町の情報入手先を充実させていく中で、情報発信を任務とする地域おこし協力隊員が運用するSNS等と連携することにより、行政からの事務的かつ一方的な情報に違う視点からの情報が加わることで、厚みを持った情報提供に努めていく。 ②FMとうみアプリの登録者は町民以外もいることから、町の取り組みを知ってもらう窓口の一つとして活用していく。		

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針		
地方創生への効果		今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった		③事業内容を見直して実施
委員からの意見		

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	2-9
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標2（オ）情報発信体制の強化			事業担当課・ 係	企画財政課まちづくり政策係			
総合戦略記載 内容	②女子美術大学と連携し、大学生のデザイン力や発信力を活用して、アートの力を活かした情報発信や地域の振興に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
女子美術大学と連携した事業の取組件数		10件	(5年累計)	累計3件	累計7件	累計8件		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	女子美術大学と連携したアートによる長和町活性化事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	アートの力をまちづくりに活かし地方創生につなげることを目的として、女子美術大学と連携し、大学生のデザイン力や発信力を活用した情報発信・地域振興に取り組む。女子美術大学との包括連携協定の締結を視野に入れながら、本事業について寄せられたアイデアを踏まえつつ、町の事業と関連付けて事業を進める。事業の成果は専用ホームページに掲載するとともに、長和町総合文化祭等での展示、広報ながわへの掲載など、町民の皆さまにわかりやすく伝えていく。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度は、①長和町の民話をテーマとした作品の制作(大学の授業としての取組み)、②町内巡回バスのラッピング及びロゴデザイン、③認知症サポーター養成講座受講者向けオリジナルグッズデザインを実施し、取組件数は3件となった。総合文化祭への作品展示は中止のためできなかったが、専用ホームページに作品を掲載したほか、令和元年度に制作された民話クリアファイルを長門小、和田小、依田窪南部中学校に配布し、民話を若い世代に伝えることの一助となった。また、令和元年度事業の作品を広報ながわにおいて紹介した。包括連携協定の締結は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、進めることができなかった。 令和3年度は、①町内のバス停に関する企画の作成、リモートプレゼン(大学の授業としての取組み)、②認知症サポーター養成講座に関連して、ながわ(輪)ささえあい隊の周知・広報用ポスターデザイン、③職員着用ポロシャツデザイン、④広報ながわ200号記念ロゴデザインを実施し、取組件数は4件となった。新たな取組みとして、町民の皆さまが女子美術大学の作品に触れる機会の提供を目的に、役場本庁舎にてバス停に関する企画書・作品展示を行った。また、令和2年度事業の作品等を広報ながわにおいて紹介した。包括連携協定の締結については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があり大きな進展はないが、成果物の取扱いに関する確認書・契約書の雛形が完成し、協定の締結に向けて確実に歩みを進めている。 令和4年度は、町内のバス停に関する企画の作成、学生による担当者向けプレゼン、大学教員による町職員向けプレゼン、総合文化祭での企画展示・イベント(3年ぶりに学生が来町)等を実施した。これらは一連の取組みであるため、取組件数を1件とした。							
R2年度事業費	1,539	千円	主な支出内容	アートをテーマとした構想事業委託料(ホームページ運営、委託事業者活動費等)				
R3年度事業費	1,654	千円	主な支出内容	アートによる長和町活性化事業委託料及び報償費(女子美大及び委託事業者活動費、ホームページ運営、報告書作成費、作品デザイン謝礼等)				
R4年度事業費	2,169	千円	主な支出内容	アートによる長和町活性化事業委託料及び報償費(女子美大及び委託事業者活動費、ホームページ運営、報告書作成費、作品デザイン謝礼等)				
R5年度事業費	2,430	千円	主な支出内容	アートによる長和町活性化事業委託料及び報償費(女子美大及び委託事業者活動費、ホームページ運営、報告書作成費、作品デザイン謝礼等)				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策: KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
・授業の一環で長和町に伝わる民話が取り上げられ、若い世代に民話を知っていただく取り組みが行われたほか、長和町からの要望に基づくデザイン(町内巡回バスのラッピング及びロゴデザインや認知症サポーター養成講座受講者向けグッズデザイン、ながわ(輪)ささえあい隊の周知・広報用ポスターデザイン等)が実現、小中学生への民話クリアファイルの配布(新聞等でも報道)を通じて、町民の皆さまに女子美術大学との連携した取り組みを知っていただくことができた。このことにより、町民の皆さんに改めて長和町の良さを知っていただくことにつながった。専用ホームページへの作品掲載を通じた長和町のPRにつながった。 また、新型コロナウイルスの影響により、以前同様の取り組みが難しいケースも多いが、その中でできる取り組みに力を入れた。ながわ(輪)ささえあい隊任命式では、小学生とグッズデザインを行った学生、女子美術大学の教員をリモートでつなぐことで、お互いを身近に感じることができた機会となった。 ・町内での作品展示や広報ながわによる作品紹介等により、徐々に本事業や大学との連携について、町民の方の認知度が向上している。これらの取り組みを通じ、長和町の地域資源の魅力の再発見や再認識、知名度の向上等につながる事が期待される。 ・知名度の向上に伴い、町民の方から要望の声をいただくこともある。この声を大学に共有し、さらに地域に密着した事業となるよう努める。 ・連携が深まり事業内容が充実していく中で、学生が制作した成果物の取扱い方法の整理が求められている。取扱いに関する確認書・契約書を用い、正式な手続きに基づいて事業を進めていくことで良好な関係の維持につなげる。 ・大学の授業としての取り組みとは別に、「女子美術大学と連携して行いたい事業」について、職員を対象に意見や要望の調査を行った経過があるが、前回のアイデア募集から4年以上経過していたため、令和4年度に事業内容の整理を行った。大学への突発的な依頼は避け、年度当初に町からの要望を年間計画としてまとめ、大学へ提案することを検討している。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
・新型コロナウイルス感染症の影響により進めることができなかった包括連携協定の締結に向けた活動を再開させる。 ・平成28年度から令和4年度に積み重ねてきた事業の総括と今後の展開について整理する取り組みを行っていく。 ・令和4年度に誕生した町内のバス停に関する企画 長和町バス停擬人化プロジェクト「長和町恋路物語」は、実現を目指し計画を立てている。この企画は単年の取り組みではなく、今後長年に渡り発展させていくものであるため、どの時期にどのようなことを実施すべきか大学と協議を重ね、事業を展開していく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・長久保宿と和田宿の通行手形を女子美術大学と連携して作成したいと思い、大学の教授と話をしたことがあったが、その後やり取りが途切れてしまっている。ぜひ復活してほしい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-1
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標3 (ア)結婚支援体制の充実(「婚活」支援)	事業担当課・ 係	町民福祉課福祉係					
総合戦略記載 内容	①社会福祉協議会、婚活イベント実施団体と連携し、出会いの場の提供の工夫、出会った後のアフターケア、成婚までのフォローを行う等、婚活支援事業補助金を活用し、結婚を希望する者の願いがかなうよう支援体制の充実を図ります。あわせて、上田地域定住自立圏を構成する自治体等と連携した取り組みを検討します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	婚活支援事業補助金を活用した交流イベント参加者数	60人	(年間)	0人	0人	0人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	長和町婚活支援事業補助金の継続							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	社会福祉協議会、婚活イベント実施団体と連携し、出会いの場の提供の工夫、出会った後のアフターケア、成婚までのフォローを行う等、婚活支援事業補助金を活用し、結婚を希望する者の願いがかなうよう支援体制の充実を図る。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、イベントの実施ができなかった。 令和3年度も婚活イベントの開催に向けて社協と協議を進めたが、コロナ禍により実施できなかった。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容	事業実施なし。				
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容	事業実施なし。				
R4年度事業費	200	千円	主な支出 内容	商工会青年部と社会福祉協議会と連携した婚活イベントの開催。				
R5年度事業費	200	千円	主な支出 内容	商工会青年部と社会福祉協議会と連携した婚活イベントの開催。				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	上田地域定住自立圏構成市町村等との連携についての協議							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	・上田地域定住自立圏構成市町村と連携した婚活イベントを令和2年度から実施している。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	令和2年のから引き続き開催。定住自立圏での募集により、女性30名、男性30名と多くの参加者により開催することができた。							
R2年度事業費	13	千円	主な支出 内容	上田地域定住自立圏合同婚活イベント負担金				
R3年度事業費	15	千円	主な支出 内容	上田地域定住自立圏合同婚活イベント負担金				
R4年度事業費	17	千円	主な支出 内容	上田地域定住自立圏合同婚活イベント負担金				
R5年度事業費	19	千円	主な支出 内容	上田地域定住自立圏合同婚活イベント負担金				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
新型コロナウイルス感染症により、町でのイベントが3カ年開催できていない。 圏域でのイベントも4年度は参加者がいなかったため、広報の充実を図らなければならない。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
④地方創生に対して効果がなかった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
商工会を交え、5年度のイベント開催に向けて準備を進めていきたい。 圏域でのイベントについては、引き続き構成市町村と連携を図る。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
④地方創生に対して効果がなかった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-2
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・ 係	こども・健康推進課子育て支援係・健康づくり係、教育課学校教育係					
総合戦略記載 内容	①子育て世帯の経済的な負担の軽減(産前産後交通費助成、子育て応援給付金、おむつ用ごみ袋支給、高校通学費補助、給食費無償化、保育園副食費無償化等)を継続します。また、奨学金制度の充実(給付型奨学金、条件付の償還一部免除等)を検討します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
おむつ用ごみ袋支給人数		24人	(年間)	32人	27人	35人		
支え合いサポート事業利用料補助 申請件数		30件	(年間)	0件	103件	1件		
高校通学費補助対象人数		135人	(年間)	136人	140人	125人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	子育て応援給付金支給							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	子育て世代の経済的負担の軽減のため、出生時、小学校・中学校入学時に「子育て応援給付金」を交付する。 出生 第1子:3万円、第2子:5万円、第3子:10万円、第4子以降:20万円、 小学校入学:3万円、中学校入学:5万円							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	出生祝い金は、窓口での出生手続きの際申請してもらい、小・中学校へ入学した児童については、町で対象者を 抽出し、申請書を送付した。給付金を速やかに支給することにより子育て世代の経済的負担の軽減を図ることが できた。 【支給実績】 令和2年度 (出生)26名1,590千円 (入学)小学校:37名1,110千円、中学校:48名2,400千円 令和3年度 (出生)18名1,060千円 (入学)小学校:32名960千円、中学校:42名2,100千円 令和4年度 (出生)31名2,180千円 (入学)小学校:31名930千円、中学校:36名1,800千円							
R2年度事業費	5,100 千円	主な支出 内容	給付金					
R3年度事業費	4,120 千円	主な支出 内容	給付金					
R4年度事業費	4,910 千円	主な支出 内容	給付金					
R5年度事業費	4,230 千円	主な支出 内容	給付金					
R6年度事業費	千円	主な支出 内容						
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	支え合いサポート事業利用料補助							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	社会福祉協議会実施の支え合いサポート事業等の子育てに関する相互援助活動を受けた際にお支払いした利用 料の一部を補助する。 1月を単位に、利用料の5分の2の額を補助。(上限5千円、ひとり親世帯等は上限1万円)							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	社会福祉協議会の実施する支え合いサポートの利用料を補助する。 【支給実績】 令和2年度 0件、令和3年度 103件、令和4年度 1件							
R2年度事業費	0 千円	主な支出 内容						
R3年度事業費	38 千円	主な支出 内容	子育てサポート利用料補助金					
R4年度事業費	1 千円	主な支出 内容	子育てサポート利用料補助金					
R5年度事業費	72 千円	主な支出 内容	子育てサポート利用料補助金					
R6年度事業費	千円	主な支出 内容						

取り組み事業③（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	おむつ用ごみ袋支給			
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	2歳未満の乳幼児を養育している家庭におむつ用ごみ袋を無料配布する。 乳幼児1人月5枚を一括配布			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	出生、転入手続きの際に申請手続きをしていただく事により速やかにまた、もれなく対象者へ配布できた。 【支給実績】 令和2年度 32名 3,430枚(出生26名:3,120枚 転入6名:310枚) 令和3年度 27名 2,850枚(出生18名:2,160枚 転入9名:690枚) 令和4年度 35名 4,020枚(出生31名:3,720枚 転入4名:300枚)			
R2年度事業費	86	千円	主な支出内容	可燃ごみ袋(中袋) @25*3,430枚
R3年度事業費	72	千円	主な支出内容	可燃ごみ袋(中袋) @25*2,850枚
R4年度事業費	101	千円	主な支出内容	可燃ごみ袋(中袋) @25*4,020枚
R5年度事業費	90	千円	主な支出内容	可燃ごみ袋(中袋)
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
取り組み事業④（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	産前産後交通費助成			
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	胎児、乳児に疾患等があり遠隔地への医療機関に受診が必要な者に対して、ガソリン代等を助成する。事業開始時は年間10回までの利用回数であったが、入院になった場合頻回に病院に行く必要があり、回数を年間20回までに増やした。対象となる方には、本事業の周知を行うとともに、今後も事業を継続して実施していく。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	母子手帳発行時に、本事業について周知した。令和2年度は対象者がおらず、実績なし。令和3年度対象者1名(こども病院への通院1回)。令和4年度対象者なし。			
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	3	千円	主な支出内容	ガソリン代 @30円×46km×2
R4年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	72	千円	主な支出内容	ガソリン代
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
取り組み事業⑤（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	高校等通学費補助			
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	子育て世代の経済的な負担の軽減を図るため、長和町に住所を有し、高校、町外の中学校に通う児童生徒の世帯に対し通学費の補助を行う。 【補助額】()内は遠距離地域の補助額 丸子地域3,500円(5,500円)、立科地域4,000円(6,000円)、その他地域8,000円(10,000円)、下宿(10,000円) 毎年度各家庭へ申請書を送付し補助を行う。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	各家庭に申請書を前期分を送付し、とりまとめを行っている。			
R2年度事業費	10,092	千円	主な支出内容	高校通学費の補助金(136人)
R3年度事業費	10,156	千円	主な支出内容	高校通学費の補助金(140人)
R4年度事業費	9,550	千円	主な支出内容	高校通学費の補助金(125人)
R5年度事業費	10,092	千円	主な支出内容	高校通学費の補助金(121人)
R6年度事業費		千円	主な支出内容	

取り組み事業⑥（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	奨学金制度の充実に関する検討			
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	奨学金制度の充実を望む声があることから、給付型奨学金や奨学金の一部免除等について情報収集を行い奨学金制度の充実を検討する。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	引き続き情報収集を行っているところである。			
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R4年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
①子育て応援給付金事業は、出生時や小・中学校入学時に給付金を速やかに支給することにより子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができている。 ②支え合いサポート事業利用料補助事業は、社会福祉協議会の支え合いサポート事業を利用した方へ利用料の一部を補助することにより、制度を利用しやすい体制を整えている。令和4年度は事業を利用する方が少なかったため補助対象となる方も少なかった。 ③おむつ用ごみ袋支給事業は、出生の手続きの際に申請していただくため、速やかに支給ができ、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができている。 ④産前産後交通費助成は、対象者に周知ができている。 ⑤高校通学費補助事業は、補助を行うことで子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ることができている。 ⑥奨学金制度の充実に関する検討は、情報収集を行っているが、引き続き利用者の負担軽減を目標に検討したい。なお、財源確保の見通しがつかないと、給付型の奨学金や奨学金の一部免除は困難と思われる。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行（計画）どおり継続して実施	
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載				
①子育て応援給付金事業は、速やかに給付金を支給することにより子育て世帯の経済的負担の軽減を図れているため、現行どおり継続して事業を実施したい。 ②支え合いサポート事業利用料補助事業は、社会福祉協議会と連携をとりながら制度の周知に努め現行どおり事業を実施したい。 ③おむつ用ごみ袋支給事業は、減量しがたいおむつ用ごみ袋を支給することにより子育て世帯の経済的負担の軽減を図る事業であるため継続して事業を実施したい。 ④産前産後交通費助成は、今後も対象者に本事業の周知をしていく。 ⑤高校等通学費補助は、今後も現行どおり事業を進めていく。 ⑥奨学金制度の充実に関する検討は、引き続き情報収集を行い利用者の負担軽減を目標に検討したい。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行（計画）どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-3
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・ 係	教育課人権男女共同参画係					
総合戦略記載 内容	②児童館図書室のあり方について再検討し、検討に基づく事業展開を行います。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	図書館に関する建設検討委員会による検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	未実施	未実施	実施		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 ◆建設検討委員会の開催について: 令和2年度 未実施(上田広域図書館情報ネットワーク(エコール)の活用を主体とする。) 令和3年度 未実施 令和4年度 図書館運営委員会を開催								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	児童館図書室のあり方の検討							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	長門ふれあい館の図書館は児童館図書室という扱いのため、現状手狭になっている。このことを踏まえ、今後の図書館のあり方について、図書館運営委員会において検討を進める。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	特になし(上田広域図書館情報ネットワーク(エコール)の活用を主体として取り組んだため)。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	18	千円	主な支出 内容	図書館運営委員会委員報酬				
R5年度事業費	28	千円	主な支出 内容	図書館運営委員会委員報酬				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策: KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・運営委員会において、現在の長門図書館の運営について様々な課題や意見があった。図書館建設については引き続き検討することとなった。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
④地方創生に対して効果がなかった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
・委員会において、『デジとしよ信州』(電子図書)の活用など、有効活用できるものを積極的に推進し、本に親しむ機会を作っていく。 ・図書館の今後のあり方(新設、改築を含めて)について、引き続き委員会に於いて協議していく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
④地方創生に対して効果がなかった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-4
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・ 係	教育課学校教育係					
総合戦略記載 内容	③コミュニティスクール、学校地域支援本部の取り組みを引き続き一体的に進め、地域住民と接し学ぶことを通じ、子どもたちが地域の良さを実感し愛着が高まる中、多様な想像力を生み出すことができるようになるなど大きな学習効果が得られるよう支援します。また、取り組みの情報発信を通じ、活動を支える人材の確保と地域における認知度の向上を図ります。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	コミュニティスクール、学校地域支援本部の取り組み	継続(2校)	(R6時点)	継続(2校)	継続(2校)	継続(2校)		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	和田学校における文部科学省型コミュニティ・スクール事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	読み聞かせ・ミシン等各種授業支援はもとより、コミュニティスクールという事業の地域における理解を深め、定着を図りたい。読み聞かせ等各種授業支援及び広報用資料の作成を実施していく。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	各種事業支援について、コロナ禍で事業実施が困難な事業もあるが、実施できる事業について実施している。経田小学校との交流事業については、コロナにより対面での交流は今年度も実施ができない。広報資料の作成を行い広報ながわに活動記事を掲載している。							
R2年度事業費	280	千円	主な支出 内容	運営委員会委員報酬、外部講師謝金、事務用品類等				
R3年度事業費	279	千円	主な支出 内容	運営委員会委員報酬、外部講師謝金、事務用品類等				
R4年度事業費	352	千円	主な支出 内容	運営委員会委員報酬、外部講師謝金、事務用品類等				
R5年度事業費	504	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	長門小学校における信州型コミュニティスクール事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	読み聞かせ・ミシン・書道・水稻栽培等の各種授業支援はもとより、コミュニティスクールという事業の地域における理解を深め、定着を図りたい。読み聞かせ等各種授業支援及び広報用資料の作成を実施していく。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	各種事業支援について、コロナ禍で可能な事業を実施した。広報資料の作成を行い広報ながわに活動記事を掲載した。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	39	千円	主な支出 内容	委員報酬				
R4年度事業費	39	千円	主な支出 内容	委員報酬				
R5年度事業費	39	千円	主な支出 内容	委員報酬				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
コミュニティスクール事業の展開は、様々な体験を通じ、地域住民と接する、地域を知る、見聞を広げるなど子どもたちの豊かな学習につながるとともに、学校と地域の協働により開かれた学校づくりにつながっている。 広報活動による効果は目に見えるものになってはいないが、地域の方々の理解が深まり、関心を持った方が活動に加わっていただくなど、人材確保により、コミュニティスクールの活動が活発になることを期待したい。 コロナによる活動の制限や運営に関わる講師の高齢化が課題となっている。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
現行の取り組みを継続して進めるとともに、活動内容の広報活動を継続し、認知度の向上に努める。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-5
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3（イ）子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	教育課学校教育係					
総合戦略記載内容	④子どもたちの学力向上のため、ICT教育等、時代に即した施策や、補完的な学習の場など、ニーズを踏まえた施策を講じ、質の高い教育を実現することで、子どもの数が少ない中でも進学等の際、不利にならないような取り組みを行います。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
ICT教育推進についての検討、施策の実施		施策の実施	(R6時点)	施策実施	施策実施	施策実施		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 【令和2年度】ICT機器端末の導入、GIGAスクール用ネットワーク環境の導入 【令和3年度】教員向け研修会の実施。学習ソフトの検討と導入。学習ソフトの支援業務。学習ソフトを全学年で使用できる体制を整備する。								
補完的な学習の場の検討、施策の実施		施策の実施	(R6時点)	未実施	未実施	未実施		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 【令和4年度】依田窪南部地域(小学校)での学習交流の実施。学校交流を含めたオンライン授業の実施。								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	ICT教育推進についての検討							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	ICT教育の検討を始めると同時に、国によるGIGAスクール構想が打ち出されたため、GIGAスクール構想による事業を実施し、ネットワーク及び端末整備を行う。また、機器整備及び機器を扱う専門家(支援員)の配置等を行い、GIGAスクール構想を通じたICT教育の推進を積極的に行う。導入した端末機については、学習ソフトをはじめ、学習に関連する各種教材、プログラミングのアプリ等を導入し有効活用を進める。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度に整備された国のGIGAスクール構想に伴う整備が行われたので、委託による外部サポーターを依頼し有効的な活用ができるように体制を整備した。外部サポーターの各学校への授業の支援、有効活用について支援、相談できる体制の整備を行った。 また、学習ソフトを令和3年度に導入し、引き続き令和4年度も運用した。							
R2年度事業費	14,027	千円	主な支出内容	端末機器の導入費用、ネットワーク機器購入費用、教師向け研修、機器セットアップ費用				
R3年度事業費	3,428	千円	主な支出内容	GIGAスクール相談支援員の委託費用、学習ソフトの使用料				
R4年度事業費	3,262	千円	主な支出内容	GIGAスクール相談支援員の委託費用、学習ソフトの使用料				
R5年度事業費	3,625	千円	主な支出内容	GIGAスクール相談支援員の委託費用、学習ソフトの使用料				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	補完的な学習の場の検討							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	GIGAスクール構想により整備された機器を活用して、他校との交流や授業動画の配信等、質の高い学習ができるような検討を進め、具体的な施策を実施する。施策の実施や展開にあたり、方向性や検討課題について協議が必要な場合に小中一貫教育研究及びICT機器整備促進検討委員会にて検討を進める。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度にGIGAスクール構想による機器整備を行ったことから、機器を活用した施策の検討を進めている。学習教材について、具体的な検討が行われ、令和3年11月から端末機による学習を開始。令和4年度、他校との学習交流に向けて、ドメイン、グループウェア、通信確認、必要機材等具体的に検討を進め、実施できる環境を整えた。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					

R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
R5年度事業費	112	千円	主な支出 内容	小中一貫教育研究及びICT機器整備促進検討委員会 委員報酬
R6年度事業費		千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で出てきた課題、課題の改善策)				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策: KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
ITC教育の推進については、国がGIGAスクール構想を打ち出したことにより、端末機器の整備が大きく進んだ。機器の整備により授業や学習への利用や活用が進んでいるが、機器の操作や不調時の対応、教職員向けの利活用への対応が課題となり、サポーターによる相談体制を整備した。また、家庭学習での端末利用について、通信環境が無い家庭でも学習ができる学習ソフトを導入した。 補完的な学習の場については、端末機の家家庭学習でドリルや調べ物学習に利用を行っている。授業動画について教室と家庭の相互発信や質の高い学習環境が整うよう検討したい。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載				
ICT教育の推進について、機器が整備され、実際の授業や学習への使用について、課題への対応や支援員の配置を行っている。 補完的な学習の場の検討について、整備された機器を活用した施策(オンライン学習、他校との交流、学習意欲につながる方策等)の具体的に検討を進めている。特に遠隔地の他校との交流や、同じ学習ツールを使用した合同事業については、取り組みが一部実施された。今後、より利便性の高い学習ツールの導入を検討していく。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-6
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3（イ）子育てするための環境や支援の充実			事業担当課・係	教育課人権男女共同参画係			
総合戦略記載内容	⑤児童館の利用件数が増加する中、従来の児童館の運営に加え、放課後児童受入れ体制の充実を検討します。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
放課後児童の受け入れ体制充実についての検討、施策の実施		施策の実施	（R6時点）	施策の実施	施策の実施	施策の実施		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】								
①人員の確保のため、大学生アルバイトを新たに3名募集した。（共立メンテナンスによる包括業務）								
②受入体制の充実を図るため、県主催の放課後児童支援員資格研修に、新規職員1名が参加した。								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	児童館運営事業							
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	放課後児童クラブ（長門・和田）の適切な運営を行う。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	共働きやひとり親家庭の増加等、子育てに対する環境の変化に伴い、子育て世帯の負担軽減を図る施策として、就業等により昼間、家庭内で児童を見ることが困難な児童を預かり、適切な遊びや学習等を提供することにより、健全な児童の育成を図る「放課後児童クラブ」事業を実施している。 長門地区では長和町長門児童館、和田地区では和田老人福祉センター施設において対象児童を受け入れ、放課後児童支援員による遊びや学習を提供している。							
R2年度事業費	3,426	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ運営に係る経費（食糧費、消耗品、光熱水費 等）				
R3年度事業費	3,123	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ運営に係る経費（食糧費、消耗品、光熱水費 等）				
R4年度事業費	3,625	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ運営に係る経費（食糧費、消耗品、光熱水費 等）				
R5年度事業費	2,833	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ運営に係る経費（食糧費、消耗品、光熱水費 等）				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	放課後児童の受け入れ体制の充実							
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	放課後児童クラブを利用する家庭が年々増えている（特に長門）ことや利用内容の多様化等により、指導員への負担増加が課題となっている。課題改善のため、対応する支援員の充実、新規指導員の確保に努めるとともに、指導員が研修に参加する等により質の高い児童館運営を目指す。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・様々な児童に対し適切な支援を行うため、近隣の長野大学（上田市）にアルバイト学生の募集を行った。							
R2年度事業費	11,650	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ職員にかかる包括業務委託				
R3年度事業費	13,855	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ職員にかかる包括業務委託				
R4年度事業費	13,189	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ職員にかかる包括業務委託				
R5年度事業費	14,571	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ職員にかかる包括業務委託				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
・令和4年度:児童支援や見守りが特に必要な児童に関して、資質の向上を図る目的で支援員向けの研修会を実施した。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
・支援員の資質向上のため、支援員向けの研修会を今後も継続していきたい。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-7
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標3（イ）子育てするための環境や支援の充実			事業担当課・ 係	こども・健康推進課子育て支 援係・健康づくり係			
総合戦略記載 内容	⑥子育てに関する相談がしやすい環境を整えます。また、子育てに関する町の取り組みなどが、必要とされている方に確実に届くよう、また町外の方にも取り組みを知っていただけるよう、情報発信の方法を見直します。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
子育てに関する相談件数		300件	（年間）	196件	181件	329件		
情報発信体制の改善検討、施策の 実施		施策の実施	（R6時点）	情報発信	情報発信	情報発信		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 保健福祉総合センターや子育て支援センターにおける相談事業の継続と、母子手帳アプリの登録を周知し、町の子育て情報を速やかに 収集できるように努める。また、母子手帳アプリと子育て支援ホームページの連携により、町内外へ子育て支援策の情報発信をする。								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	子育て支援センターや保健福祉総合センターにおける相談事業							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・毎週月曜日午前中の保健センター開放日に、身体測定その他、育児相談や乳幼児食の栄養相談を実施。また、子育て支援センターにおいては、保育士による子育て相談を実施し、関係機関において連携を密に取りながら、相談しやすい体制を整える。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の下では、人との接触が思うようにできない分、子育てが孤立する傾向にあるため、感染対策をしっかりと実施し継続して相談事業を実施していく。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・5年間の取り組みの方向性記載のとおり実施。令和2年度はコロナ禍であったが利用者が増加した。令和4年度より、子育て支援センターにおいて「保健師の日」を設け（毎週水曜日の午前中）相談事業の充実を図った。 【実績】 令和2年度相談件数 健康づくり係健康相談：134件、子育て支援センター：62件 令和3年度相談件数 健康づくり係健康相談：124件、子育て支援センター：57件 令和4年度相談件数 健康づくり係健康相談：165件、子育て支援センター：164件							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	子育てに関する情報発信方法の改善（必要としている方に情報が確実に届く方法、町外への積極的なPR方法の検討）							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・母子手帳アプリを導入し、こどもの成長の記録、予防接種管理、地域の子育て情報、町の情報発信の場として、活用していく。 ・「子育て支援WEB SITE」のリニューアル、ガイドブック等の活用による情報発信への取り組みにより情報発信を改善強化する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・母子手帳アプリの導入（子どもの成長の記録、予防接種管理、地域の子育て情報の発信）、ガイドブック等の活用による情報発信への取り組み、子育て支援ホームページのリニューアルにより情報発信の改善強化を進めた。 ・令和2年4月に母子手帳アプリを導入し、令和2年度は登録者数63件であった。 ・令和3年度 母子手帳アプリ新規登録者数20件 令和3年度末時点 総登録者数 83件 子育て支援ホームページリニューアル、子育てガイドブックの配布40件、子育て支援センターInstagramの開設 ・令和4年度 母子手等アプリ新規登録者数 26件 総登録者数 112件 子育て支援ホームページの周知（広報等）、子育て支援センターInstagramによる情報発信							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容	母子手帳アプリの導入				
R3年度事業費	542	千円	主な支出 内容	母子手帳アプリ負担金：245千円 子育て支援ホームページ作成委託料：297千円				
R4年度事業費	245	千円	主な支出 内容	母子手帳アプリ負担金：245千円				

R5年度事業費	245	千円	主な支出 内容	母子手帳アプリ負担金:245千円
R6年度事業費		千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
①子育て支援センターや保健福祉総合センターにおける相談事業 ・子育て支援センターでは、保育士による相談を実施していたが、令和4年4月より毎週水曜日の午前中を「保健師の日」とし相談事業の充実を図った。保健師と気軽に話せる機会が増えたことにより相談件数が増えている。 ②子育てに関する情報発信方法の改善 ・母子手帳交付時・新生児訪問時にアプリの紹介をし、登録者が増えている。 ・令和3年度にリニューアルした子育て支援ホームページを多くの方に見ていただけるよう広報等により周知をした。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載				
①保健福祉総合センターや子育て支援センターにおける相談事業については、相談に見える方の来所が多いことから今後も継続して実施していく。 ②子育てに関する情報発信方法の改善 ・母子手帳交付時にアプリの紹介をし、登録者が増えている。 ・子育て支援ホームページや子育て支援センターのInstagramにより、子育て支援情報を発信していく。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-8
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	こども・健康推進課健康づくり係					
総合戦略記載内容	⑦「産前産後子育てサポーター」の育成を進めるとともに、講座修了者のフォローや再研修によるレベルアップを図り、出産準備・産後ケアの体制を充実させ、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援する体制を整えます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	産前産後子育てサポーター数	30人	(R6時点)	20人	23人	23人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	産前産後子育てサポーター養成事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・核家族化、働く母親の増加、少子化等現代の子育て事情を理解し、母親の育児不安が軽減し、孤立しないよう、妊娠期から子育てを応援してくれる子育てサポーターを養成する。広報等に養成講座の目的、日程、内容、サポーターの役割等について記載し、サポーターを募集する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本事業を中止とした。 ・令和3年度は、11月から4回コースで講座を実施し5名の参加があった。(5名中3名が今回修了者。1名は既卒者。1名は初回のみ参加)講座終了後、日にちを設定し子育て支援センターの見学を行った。 ・令和4年度:実施なし(昨年度参加者が少なかったため、人数が集まり次第実施するとして。)							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	100	千円	主な支出内容	講師謝礼 1コース4回実施				
R4年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R5年度事業費	30	千円	主な支出内容	講師謝礼				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・第1期総合戦略期間中を含めてこれまでサポーターの養成が進んでいるが、子育て中の母親の相談に乗るということを主な活動として進めている。相談活動に加えた活動内容を検討し、活動の幅を広げたい。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				③事業内容を見直して実施				
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
・今後、サポーター候補者を集め、人数が集まり次第、サポーター養成講座を開催するよう事業を見直していく。また、現在登録中のサポーターのステップアップ研修としての開催方法も検討する。講座修了者は支え合いサポート(ながわ子育てボランティア=おひさま)に可能な限り登録してもらい、お子さんの預かりも含め、子育て支援センターの応援をもらう。また各種健診、学級時の託児の検討も行うことや母親から応援してほしい内容の希望を聞きながら、活動内容を広げていく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	3-9
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標3（イ）子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・ 係	こども・健康推進課子育て支援係・保育園・健康づくり係、 教育課男女共同参画係					
総合戦略記載 内容	⑧第1期総合戦略の取り組みや、ヒアリングを通じた保護者への支援等のニーズ、核家族化等の社会環境の変化や時代の要請を踏まえ、様々な家族のかたちに合わせて子育て環境・支援体制の整備のための施策を展開し、子育ての楽しさを感じながら親子の絆を深められる、また、「子育てするなら長和町で」を実感できる体制づくりをし、こころも身体も元気で思いやりのある子どもが育つまちを目指します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
子育て支援センター延べ利用人数		7,000人	（年間）	2,810人	2330人	2487人		
保育現場等へのICT利活用の検討、 施策の実施		施策の実施	（R6時点）	未実施	検討の実 施	検討の実 施		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 民間業者によるICT導入・運用に関するセミナー参加 2回、園内での検討 情報収集								
病児・病後児保育の体制の検討、施 策の実施		施策の実施	（R6時点）	未実施	未実施	アンケート		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 定住自立圏病児・病後児保育事業利用状況の確認 保育園保護者へ実施したアンケートの中へ病児・病後児保育の項目を設けた。								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	ヒアリング結果や利用者の声を踏まえた施設運営の改善（利用者目線に立った質の高い保育園や子育て支援センター、児童館の運営）							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	近年、核家族化や共働き世帯の増加等により、早期からの保育園入園や児童館利用者が増加している。また、利用者のニーズも多様化している。適切な人員配置や研修会への参加等による保育の質の向上に努め、施設運営の改善に努める。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	○児童館：特に支援を必要とする児童への対応について資質向上のため、放課後児童クラブ支援員、放課後デイサービス職員、町担当者向けの研修会を実施した。（20名参加） ○保育園：利用者のニーズに対応するため卒園式後2日間、通常の保育日を設けた。また、土曜希望保育や未満児の入園増加に対応するため職員態勢を整えた。保育の資質向上のため、園内研修を実施している。 ○子育て支援センター：安心・安全に利用できる遊びの場等の提供ができるよう、館内やおもちゃの消毒・換気、イベントの開催方法の見直し等感染症対策を徹底をした。インスタグラムを開設し、子育て支援センターの日々の様子を発信した。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					

取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	専門職（公認心理師等）の確保や職員の資質向上			
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	職員がこどもの特性を理解し、かかわり方について学べるよう、関係部署で専門職の確保に向け連携し取り組んでいく。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・子どもに関わる支援者がこどもの特性を理解し、その子にあわせて子どもと関わるができるよう、子育て相談、保育園、小中学校の巡回相談、就学相談を通して子どものよりよい支援ができる体制づくりに取り組んだ。 ・長和町教育支援相談員、健康づくり係、保育園、小中学校、ふれあい館等と連携をもち、支援者がこどもの特性を理解しその子に合わせた支援ができるよう、関係者で支援会議等を開催し、情報共有して支援方法の検討をしている。関係者が連携をとり、支援会議を実施し、支援方法の共有、役割分担することの必要性を理解し実施できている。 ・令和2年度：子育てに係わる関係部署の職員で研修会を実施した。 ・令和3年度：関係部署の職員とテーマを決め研修会を予定したが、ワクチン接種事業を優先するため未実施となった。 ・令和4年度：子育てに関わる関係部署で、メディア接触をする子どもが多い中での専門職の役割について研修会を行い、27名の参加があった。			
R2年度事業費	20	千円	主な支出内容	研修会講師謝礼
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R4年度事業費	20	千円	主な支出内容	研修会講師謝礼
R5年度事業費	20	千円	主な支出内容	研修会講師謝礼
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
取り組み事業③（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	保育現場等へのICT利活用の検討			
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	保育現場等でのICT化の導入事例について研究し、町保育園で導入した場合のメリット、デメリット等を検討した上で導入の可否について検討する。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・ICT化に関するオンラインセミナーに2回参加し、ICT化についての理解を深めた。導入するにあたっての疑問等が具体化してきた。 令和4年度：近隣市町村の導入状況についての情報収集等			
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R4年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
取り組み事業④（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	病児・病後児保育の体制の検討			
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	定住自立圏の病児保育事業により、上田病院及び丸子中央病院の病児保育センターの利用ができる。利用状況をみながら、あり方について検討をする。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	定住自立圏病児保育事業利用実績 0件 令和4年度：保育園保護者へアンケートの実施			
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R4年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R6年度事業費		千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
①施設運営の改善 ・放課後児童クラブで、特に支援を必要とする児童(障がい児、多動性児童、グレーゾーンの児童等)を支援するための研修をおこない、支援員に必要な知識や意識の向上を図った。 ・子育て支援センターは、新型コロナウイルス感染症対策により利用方法について制限をしているためKPIの達成はできていない。感染症対策の見直しをしつつ、子育て中の親子の交流や育児に関する相談、イベントの開催などにより安心して子育てができる体制を整える。また、引き続きインスタグラムにより日々の様子を発信する等、利用しやすい体制を整えていく。 ②研修会を開催し、現状に関する情報共有等も含め、の専門職が学びを深めることができた。 ③保育現場へのICT利活用のについては、運用業者によるデモンストレーションの日程調整を進め、4月に実施することになった。 ④病児・病後児保育の体制については上田病院、丸子中央病院の病児保育センターの利用は無い。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
①施設運営の改善 ・子育て支援センターは、引き続き、感染症対策に細心の注意を払いつつ、子育て中の親子の交流や子育てに関する相談の充実をはかる。また、イベントの工夫等により、父親も利用しやすい環境を整えていく。 ②今後も関係者で情報共有し、その家庭に合わせた支援ができるよう、研修会を開催し支援に結びつけていく。 ③保育現場へのICT利活用のについては、活用している市町村の話を聞いたり、初期費用や利用代金等を確認し、ICT化の実施に向けて検討をしていく。 ④病児・病後児保育の体制については、引き続き上田病院、丸子中央病院の病児保育センターの利用状況を見つつアンケートの結果を踏まえ今後の体制についての検討をしていく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・子どもに対する支援はもちろん、その子どもを育てる保護者への支援が大切。特に女性は結婚すると職場を離れるという傾向があるが、仕事の内容や勤務時間を自由に選択できるように企業側が体制を整える等、結婚後も働き続けることができる仕組み作りをする必要がある。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-1
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（ア）協働のまちづくりの推進	事業担当課・係	企画財政課まちづくり政策係					
総合戦略記載内容	①住民自治基本条例に関する町民の理解を深め、協働のまちづくりを推進します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	協働のまちづくりに関する理解を深めるための講演会等の事業実施数	3回	(5年累計)	累計0回	累計0回	累計1回		
	協働のまちづくりに関する理解を深めるための講演会参加人数	300名	(5年累計)	累計0名	累計0名	累計193名		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	協働のまちづくり推進のための講演会開催							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	住民自治基本条例に関する町民の理解を深め、協働のまちづくりを進めるため、高齢者に安心な地域づくりや支えあい等をテーマとした講演会を開催する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度、令和3年度とも新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 令和4年度は、町教育委員会が実施したスポーツ講演会と兼ねて実施した。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出内容	(講演会費用は教育委員会の予算より支出)				
R5年度事業費	83	千円	主な支出内容	啓発用チラシ印刷製本費				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
スポーツ講演会と兼ねる形で行ったが、協働のまちづくりを主題とした内容ではなかったことから十分な理解を得ることは難しいと感じられた。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
④地方創生に対して効果がなかった				③事業内容を見直して実施				
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
講演会方式による協働のまちづくりの推進も、適任な講演者や来場者が確保できれば一定の効果は見込まれるところであるが、予算確保や参加者の見込みが難しいことから、指標や取り組み事業を見直して協働のまちづくりを推進していく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
④地方創生に対して効果がなかった	③事業内容を見直して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-2
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（イ）安全・安心なまちづくり			事業担当課・ 係	総務課総務係			
総合戦略記載 内容	①住民の防災に対する意識の変革、地域の防災意識の向上、災害時に自助・共助の精神で自主的避難ができる体制の整備を目指し、町内各地区における自主防災組織の設立、住民主導型警戒避難体制の構築を進め、災害に強いまちづくりを目指します。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
自主防災組織を設置する行政区		100%	（R6時点）	60% （新規4区）	60%	60% （新規1区）		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	自主防災組織の設立推進支援							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・自主防災組織が設置されていない地区において、地区防災会議、区長会を開催し、自主防災組織設置に向け住 民意識の向上と理解を図る。また、防災リーダーとして、自主防災組織の中心となって活動することが期待される 防災士の資格取得補助金要綱を制定する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・令和2年8月に要綱制定。令和3年度までに1名の補助金交付となっている。令和4年度は、現在までに要望無し。 消防団幹部の取得を進めていく。 ・令和3年度までに49区25組織が自主防災組織を設置。令和4年度は、現在までに長久保15区が新たに設置し た。							
R2年度事業費	30	千円	主な支出 内容	防災士資格取得補助金（1名）				
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	150	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	住民主導型警戒避難体制構築支援							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・自主防災組織と地区懇談会を実施し、地域住民を主体とした防災の取り組みを推進するため、災害時に住民自 ら避難する具体的な避難体制を構築する地区ハザードマップを作成する。（長野県との連携事業）							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・令和2年度は県事業として3地区要望。（立岩自治会、長久保14区、橋場区）コロナの影響により、会議等の開催 が難しく、結果として長久保14区のみ地区ハザードマップを作成した。 ・令和3年度は、立岩自治会が地区防災マップを作成した。令和4年度は、現在までに要望がなく、今年度防災組 織を設置した15区に働きかけを行う。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・継続的な取り組みにより、住民の防災意識は向上しており、地区ハザードマップを作成したことで一定の成果をあげた。								
・防災士取得には一定期間の時間を要するため、躊躇う消防団員などがいたが、引き続き取得を進めていく。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
・区長等に呼びかけを行い、自主防災組織の活性化を図る。それに併せて防災力支援金などを活用して、有事の際に備え、防災グッズ等常備できる体制作りを行う。 ・令和5年度は自主防災会議などで、講演会なども計画しており、地域の防災力向上を図っていく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
④地方創生に対して効果がなかった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・評価について、自主防災組織は増えておらず、防災訓練も実施されていないので4(地方創生に対して効果がなかった)にしたい。(担当から修正するとして回答) ・防災士の資格取得のための予算が確保されているので、ぜひ地域リーダーの養成に力を入れていただきたい。 ・防災・災害に関する関心は高まっている。ぜひ地域での説明会等の開催を検討してほしい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-3
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（イ）安全・安心なまちづくり			事業担当課・ 係	町民福祉課生活環境係 企画財政課管財係			
総合戦略記載 内容	②公共施設等に防犯カメラの設置を進め、子どもや高齢者の見守り体制の充実を図ります。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
公共施設、通学路等防犯カメラ設置 箇所の総合的な検討、設置		設置	（R6時点）	累計：新設1 基（計5基）	累計：新設1 基（計6基）	累計：既設6 基		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 ・令和3年度までに、計6基の防犯カメラの設置を行った。今後の防犯カメラの新設については、学校側と協議を行い、検討を行う。 ・防犯カメラ設置促進事業の一環として、上田地域の4市町村とダイードリンク株式会社が協定を締結し、新たに設置する自動販売機 の売上金の一部を用いて、各市町村の小学校に防犯カメラを設置する取組についても、進めていきたい。								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	防犯カメラ設置事業							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	学校等と協議を行い、防犯カメラの設置が必要な場所を検討するとともに、既存6基の防犯カメラの維持管理を行 う。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	これまでに、町内の児童及び学生が登下校時に利用する通学路を対象として、計6基の防犯カメラの設置を行っ た。							
R2年度事業費	548	千円	主な支出 内容	防犯カメラ設置工事：244千円、防犯カメラ利用料：291千円、防犯カメラ電気料：13千円				
R3年度事業費	803	千円	主な支出 内容	防犯カメラ設置工事：354千円、防犯カメラ利用料：435千円、防犯カメラ電気料：14千円				
R4年度事業費	466	千円	主な支出 内容	防犯カメラ使用料：436千円、防犯カメラ電気料：30千円				
R5年度事業費		千円	主な支出 内容	防犯カメラ利用料：436千円、防犯カメラ電気料：26千円				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・令和3年度までに学校側と協議を行った上で、計6基の防犯カメラを設置した。通学路等に防犯カメラを設置したことにより、児童・生徒 の登下校の様子を把握することができる体制を整えることができ、犯罪への抑止につながったと感じる。 ・また、ダイードリンク社・上田警察署との協定により、新設する自動販売機の収益を運用基とする防犯カメラを町内小学校2校に新た に設置した。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
②地方創生に相当程度効果があった				②事業を現行（計画）どおり継続して実施				
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載								
・今後の防犯カメラの設置については、学校側と協議を行い、必要に応じて検討を行う。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
②地方創生に相当程度効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・通学路のグリーンベルトが色褪せや擦れてきている箇所がある。補修等検討してほしい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-4	終了事業
------	------------	------	-----	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（ウ）時代に適合した公共施設の整備・あり方の検討		事業担当課・係	企画財政課管財係					
総合戦略記載 内容	①公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定し、人口減少に対応した公共施設のあり方を目指します。								
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値									
指標			R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
公共施設等総合管理計画に基づく 個別施設計画の策定			計画の策定	（R6時点）	策定済	-	-	-	-
上記KPI達成のために取り組んだ事業									
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）									
事業名		各施設の個別施設計画の策定							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）		公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定を令和2年度中に行うとともに、策定済みの公共施設等 総合管理計画の改定を行う。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容		総務省より示されている令和2年度までの個別施設計画策定のため、現地調査、ヒアリング等を実施し計画策定 を行った。							
R2年度事業費	13,739	千円	主な支出 内容	業務委託料 13,739千円					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容						
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容						
R5年度事業費		千円	主な支出 内容						
R6年度事業費		千円	主な支出 内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）									
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】									
平成28年度に策定した総合管理計画の基本方針を踏まえて、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化を図ることを目的と し、建築士による現地調査や施設担当者へのヒアリング等を実施のうえ、安全安心な公共施設サービスの提供や持続可能な財政運営 を目指して、施設毎のソフト・ハード面の実情を反映した個別施設ごとの中・長期計画となる当計画の策定を行った。									
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）									
地方創生への効果					今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった					⑤予定どおり終了				
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載									
令和2年度中に、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定が終了した。 今後は、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映しながら、定期的な計画の見直しを実施するとともに、当計画に基づく対策効果 を反映した経費見込により、公共施設等総合管理計画の改定を行う必要がある。									

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	⑤予定どおり終了
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-5
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（ウ）時代に適合した公共施設の整備・あり方の検討	事業担当課・係	町民福祉課生活環境係					
総合戦略記載 内容	②町内にある公園の遊具や設備を改善し、子どもから高齢者まで誰でも利用しやすい魅力的な公園を整備します。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	既存公園等の改修・整備箇所数	1か所	（5年累計）	累計0か所	累計0か所	累計0箇所		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	町内公園の遊具・設備の改善検討、実施							
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	各公園施設の遊具や設備等の状況を確認し、各公園のあり方を含め改善方法等を検討するとともに、子どもから高齢者までが利用しやすい公園のあり方を検討する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・各公園のあり方を含め、町としての公園のあり方を係内で検討を行っている。 ・令和4年度～5年度にかけて、古町「いこいの丘公園」の改修及び、整備を予定しており、2か年にかけて公園内遊具や駐車場等をはじめとした施設をより利便性の高いものにできるよう計画を行っている。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	300	千円	主な支出内容	いこいの丘公園支障木伐採：300千円				
R4年度事業費	13,669	千円	主な支出内容	いこいの丘公園排水溝設置工事：10,604千円、いこいの丘公園水飲み場取替え工事ほか：3,065千円				
R5年度事業費	33,494	千円	主な支出内容	いこいの丘公園大型遊具設置工事：33,494千円				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	既存公園の維持管理							
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	既存公園「いこいの丘公園」、「水明の里公園」、「長門水処理センター公園」及び付帯施設を継続的に維持管理する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	既存公園「いこいの丘公園」、「水明の里公園」、「長門水処理センター公園」及び付帯施設の維持管理を行った。							
R2年度事業費	1,664	千円	主な支出内容	芝刈り・除草・剪定・トイレ清掃等：860千円、芝維持管理：621千円、公園光熱水費等：183千円				
R3年度事業費	2,075	千円	主な支出内容	芝刈り・除草・剪定・トイレ清掃等：1,237千円、芝維持管理：620千円、公園光熱水費等：218千円				
R4年度事業費	1,864	千円	主な支出内容	芝刈り・除草・剪定・トイレ清掃等：787千円、芝維持管理：972千円、公園光熱水費等：105千円				
R5年度事業費	2,490	千円	主な支出内容	芝刈り・除草・剪定・トイレ清掃等：1,047千円、芝維持管理：1,211千円、公園光熱水費等：232千円				
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
①町内公園の今後について、関係部署等と協議を行い、方向付けを行った。また、いこいの丘公園については、施設の改修及び整備を計画することができた。								
①令和4年度は、排水溝設置工事、水飲み立水栓取替工事などを実施した。								
②今後も継続して管理を行う。								
②長門水処理センターの公園についても、令和4年度から芝の維持管理を行うこととした。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
・引き続き、既存公園の将来性についての協議を重ね、住民に寄り添った公園運営目指して取組む。 ・いこいの丘公園については、令和5年度に大型遊具を設置し、子ども連れの親子をはじめとしより多くの世代を超えた地域住民が訪れる憩いの場として整備できるよう取組む。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-6
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（エ）時代に対応した公共交通網の検討			事業担当課・ 係	総務課総務係、産業振興課 商工観光係			
総合戦略記載 内容	①公共交通審議会において協議した結果を踏まえた新公共交通体制による運行を開始し、利用者のニーズを踏まえながら、時代に対応した公共交通網、高齢者の安心を支え交通の空白地帯をなくす公共交通網を構築し、免許がなくても生活ができる町を目指します。また、観光客の利便性を向上するための検討を行います。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
町内巡回バスの利用者数		36,000人	（年間）	25,763人 （新型コロナウイルス感染症・ 学校の休校による減）	24,462	21,723		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	町内巡回バス（ながわごん）運行							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内容）	令和2年10月から新公共交通体制での運行を開始したが、巡回バスを利用する方からの要望・意見や利用状況等を把握し、随時ダイヤ改正を行うなど利便性と効率性の向上を図る。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	公共交通審議会で協議した答申を踏まえ、令和2年10月から新公共交通体制での運行を開始した。 ・ワゴン車による支線道路までの曜日別運行開始 ・マルメロの駅ながと道の直売所前までの運行開始 ・白樺湖線及び立科線（学者村別荘地内）を運行したことにより、上田駅に加え、乗り換えにより茅野駅・佐久平駅までの接続が可能となった。 ・愛着と親しみをもって利用促進となるよう愛称を「ながわごん」とし、女子美術大学の学生に制作いただいた長和らしいラッピングデザインとロゴマークを巡回バス・ワゴン車に施した。 ・R3.8 JRバスと利用者アンケートを行った。結果をまとめ、常時ダイヤ改正等を検討した。 ・R4.4 ダイヤ改正							
R2年度事業費	87,960	千円	主な支出 内容	巡回バス運行委託（64,089千円）、巡回ワゴン車5台購入（23,541千円）、時刻表作成（330千円）				
R3年度事業費	58,586	千円	主な支出 内容	巡回バス運行委託（58,388千円）、ラッピングステッカー作成（198千円）				
R4年度事業費	58,463	千円	主な支出 内容	巡回バス運行委託（58,410千円）				
R5年度事業費	58,463	千円	主な支出 内容	巡回バス運行委託（58,463千円）				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	観光客の利便性向上のための検討							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内容）	・観光客、中山道を歩く方、別荘への往来が上田駅・茅野駅・佐久平駅から効率的かつ便利になるダイヤとする。 ・公共交通で長和町に来れることを広くPRしていく。 ・白樺湖線については、東白樺湖を経由するルートへ変更の検討を行う。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り組み内容	・鷹山～姫木～西白樺湖までの白樺湖線を観光シーズン等の特定期間において午前と午後各1往復の運行を開始したことで茅野駅に接続できるようになった。 ・マルメロの駅ながと～依田窪病院～学者村別荘地内～立科町役場～ツルヤ立科店までの学者村・立科線を週2日間の午前と午後各1往復の運行を開始したことで佐久平駅に接続できるようになった。 ・R4.1 買い物の利便性が上がるよう学者村線のダイヤ変更を行った。 ・上田駅との巡回バスの接続を図り、観光客や別荘への往来に利用いただけるようになった。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R4年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R5年度事業費	0	千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
①町内巡回バス(ながわごん)運行事業は、高齢者等公共交通を必要とする方のニーズを踏まえ、利便性と効率性のよい新公共交通として町内巡回バスダイヤを再編した。曜日別運行となることによる不都合等も生じるとの声もあるため、今後も住民皆様の声をいただき、より使いやすいダイヤに随時改正していく。 ②観光客の利便性向上のため、白樺湖線と立科線を継続し茅野方面と佐久平駅への接続により観光客や別荘への往来に利用いただく。しかし、繋ぎの他のバス路線のダイヤ改正に伴い、接続が悪くなるケースが見られたため今後検討が必要である。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
①及び②に抱える問題点(曜日別運行となることによる不都合や繋ぎの他のバス路線のダイヤ改正に伴い、接続が悪くなるケース等)を解消し、利便性と効率性のよい新公共交通するため、令和5年度中にデマンド型交通を視野に、早期導入を目指し検討していく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
委員からの意見	・デマンド型交通導入の動きがあるが、観光面のことも考慮して見直しをしてほしい。 ・評価は「④地方創生に効果がなかった」ではないかという意見あり →会議後、担当課の協議により、利便性向上に向けたダイヤ改正など取り組んでいることから「③地方創生に効果があった」とする。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-7
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（オ）健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実	事業担当課・係	こども・健康推進課健康づくり係、町民福祉課高齢者支援係・保険係、教育課社会教育係
総合戦略記載 内容	①町民誰もが健康でいきいきとした生活を送り、長生きできるよう、健康増進計画に基づき、町民の健康づくりを進めます。そのために、行政組織内の各部署が連携を取り、保健事業や介護予防事業等を、効果的・効率的に実施するため、一体的に事業を展開できるよう再検討します。このことにより、町民それぞれのライフステージに合った（各年代の課題に沿った）健康増進事業を展開します。		

重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
国保特定健康診査受診率	50%	（R6時点）	28.9%	40.5%	42.8% （推定値）		
高血圧者の割合	維持 （130mmHg以上47.0%、 85mmHg以上23.0%）	（R6時点）	130mmHg以上 53.8%、 85mmHg以上28.2%	130mmHg以上 41.5%、 85mmHg以上21.9%	130mmHg以上 39.1%、 85mmHg以上21.6% （推定値）		
運動に関係した生涯学習教室の参加者数	維持（3,900人）	（年間）	116人	111人	130人		
高齢者に占める要介護1以上の割合	17.0%	（R6時点）	15.8%	15.5%	15.2%		
いきいきサロンの参加者数	1,566人	（年間）	1,398人	1,093人	1,681人		

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	ライフステージに合った健康増進事業の展開		
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	・長和町は特定健康診査における肥満、血圧、血糖値の高い者の割合が高い。40歳から64歳では運動習慣のある者の割合も低い。健康づくりへの意識づけとなるよう、18歳から64歳を対象に筋肉量測定を実施し、自分の筋肉量を知ること運動習慣につながるよう取り組む。また、高血圧はすべての生活習慣病との関わりがあるため、乳幼児をもつ母親を対象に減塩事業に取り組む。 ・受診率の向上について、コロナの地域圏内での感染状況によるところもあり、難しいことが予想されるが、感染防止対策を確実にし、安心安全に健診を受けていただけるよう、取り組んでいく。今後も若い世代を対象に、筋肉量測定、減塩事業を実施し健康づくりに取り組んでいく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度：18歳から64歳を対象に115名の筋肉量測定を実施。乳幼児をもつ母親を対象とした減塩事業を22名に実施。 ・令和3年度は、新型コロナワクチン接種を優先するため、筋肉量測定は未実施。減塩事業に関しては、健診受診後の事後指導において、パンフレット等を用いながら減塩普及啓発を実施。 ・令和4年度：特定健診保健指導対象者22名に筋肉量測定を実施。乳児を持つ母親15名を対象に、尿中ナトリウム測定を実施。また、広報9月10月号にて高血圧の特集を掲載。		
R2年度事業費	1,272 千円	主な支出内容	体組成計の購入、筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、減塩事業に伴う管理栄養士委託料、
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R4年度事業費	99 千円	主な支出内容	筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、尿中ナトリウム測定委託料
R5年度事業費	162 千円	主な支出内容	筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、尿中ナトリウム測定委託料
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	関係する部署の各事業（保健事業、介護予防事業等）の一体的な展開に向けた連携体制、実施方法の検討		
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	・国保連合会のKDBシステム（国保データベースシステム）を活用し、前年度の健診結果から、後期高齢者の長和町の健康課題を把握し、対象者を抽出。健診や訪問等により重症化予防に取り組み、さらに必要に応じて医療機関とも連携していく。健康づくり係、高齢者支援係、保険係が連携して取り組む。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度：国保データベースシステムを活用し、令和元年度の健診結果から対象者を抽出し支援内容を検討した。 ・令和3年度：昨年度抽出した対象者 ①健康状態不明者16名、②糖尿病重症化予防対象者13名、③糖尿病・高血圧の未治療者、治療中断者、臓器障害ありのハイリスク者15名に関わりを持ち、重症化予防を行った。通いの場で質問票を用いて聞き取りをし、介護予防事業を促したり、フレイル予防について講話を行った。 ・令和4年度：①健康状態不明者13名、②糖尿病重症化予防対象者14名、③Ⅱ度高血圧（160/100以上）対象者12名に関わりを持ち重症化予防に取り組んだ。通いの場や健診結果報告会において、参加者個々に質問票を用いてフレイルリスクの確認をし、介護予防への取組を促すなどの働きかけをした。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	6,885 千円	主な支出内容	一体化企画調整人件費
R4年度事業費	6,935 千円	主な支出内容	企画を調整する医療専門職人件費 地域を担当する医療専門職人件費 パンフレット代
R5年度事業費	7,067 千円	主な支出内容	企画を調整する医療専門職人件費 地域を担当する医療専門職人件費 パンフレット代
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業③（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	健康に対する意識高揚や動機づけ（運動の習慣化等）、健診受診率の向上のための情報発信体制の強化（その1）		
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	・少子化、新型コロナウイルスの影響に伴い、スポーツ教室への入会者が年々減少傾向にある。今後、より気軽に、楽しみながら体を動かすことができる機会を設けていく（町民ハイキング、スポーツイベント等）。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和4年度の「町民ハイキング」は、昨年度に引き続き町内や近くで「ウォーキング」できる内容で開催した。第1回は、長久保宿をコースとし、ノルディックウォーキングを行った。町内にお住まいの方でも以外と知らないスポットがあり、「近くにあるのに知らなかったものや、歩かないと気づかないことが多くあり、とても楽しかった。」という声が多くあった。第2回は、町民からのリクエストで「男倉山」を目的地としていたが、時期的な問題により開催できなかったため、来年度の候補としたい。 ・毎年恒例の「町民運動会」の特別企画として、「令和4年度長和町スポーツ講演会」を10月23日（日）に実施した。講師としてお呼びする舞の海秀平様から元気になる講演をお聴きし、参加者が身も心も元気になる場になった。また、まちづくり講演会も兼ね、住民自治の意識付けの場にもなった。		
R2年度事業費	1,998 千円	主な支出内容	講師謝礼、指導者報酬、保険料、保険振込手数料等
R3年度事業費	1,575 千円	主な支出内容	講師謝礼、指導者報酬、保険料、保険振込手数料等
R4年度事業費	1,575 千円	主な支出内容	講師謝礼、指導者報酬、保険料等
R5年度事業費	1,575 千円	主な支出内容	講師謝礼、指導者報酬、保険料等
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業④（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	健康に対する意識高揚や動機づけ（運動の習慣化等）、健診受診率の向上のための情報発信体制の強化（その2）		
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	・コロナの感染拡大防止に努め、安心して健診を受けていただけるようにする。健康ポイント付与内容の充実を図り、健康づくりへの意識が高まるように努める。また、健診を受けるメリットなど広報等を活用し周知していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・健診結果から自分の生活習慣を振り返るきっかけとして、国民健康保険ポイント事業のポイント付与内容に、生活習慣病に関する血液の改善が見られたらポイントを付加、町民ハイキング等スポーツ事業参加時に付加など他部署とも協力し、運動への意識が高まるようにした。また、広報に低額で充実した内容の健診を提供していること、健診結果からの町の健康課題、健診受診者は未受診者よりも医療費が低いことなどを周知し、受診率向上を図っている。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人間ドックの受診者数を例年の半分にしたことにより、受診率が大幅に減少した。健康ポイント達成者名190名。 ・令和3年度は感染防止対策を徹底し、通常の受診体制をとったため昨年と比較すると、人間ドックの受診者は例年並に近づくことができた。（国保ドック受診者300人）健康ポイント達成者：195名。 ・令和4年度：感染防止対策をとりながら、人間ドック・地区特定健診を実施。未受診者対策として、土曜健診にも受診勧奨を行った。（国保：ドック261名、地区252名）健康ポイント達成者：228名。		

R2年度事業費	14,624 千円	主な支出 内容	人間ドック、地区特定健診委託料
R3年度事業費	22,811 千円	主な支出 内容	人間ドック、地区特定健診委託料
R4年度事業費	22,735 千円	主な支出 内容	人間ドック、地区特定健診委託料
R5年度事業費	25,012 千円	主な支出 内容	人間ドック、地区特定健診委託料
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
取り組み事業⑤（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	依田窪病院と連携した事業の実施		
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・今後も若い世代を対象に、依田窪病院の理学療法士、管理栄養士、検査室の協力をいただき、筋肉量測定、減塩事業を実施し若い時から健康づくりに取り組んでいくことができるようにする。		
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	＜筋肉量測定＞ ・令和2年度：18歳～65歳未満を対象に、115名に筋肉量測定を実施。自分の筋肉量を知り、運動の動機づけになるよう、測定の結果から自分にあった運動方法を依田窪病院の理学療法士に指導してもらい、継続して運動ができるよう取り組んだ。 ・令和3年度は新型コロナワクチン接種事業の主幹課であるため、事業の計画がたたず未実施。 ・令和4年度：特定健診保健指導対象者22名に筋肉量測定を実施。個人に合った運動方法を指導してもらい、継続した運動につながるように取り組んだ。 ＜減塩事業＞ 令和2年度：乳幼児期の子どもをもつ母親22名を対象に減塩事業を実施。汁物の塩分測定、尿中ナトリウム測定を実施し、自分の塩分摂取の実態を知り、減塩方法について、依田窪病院管理栄養士より指導してもらった。 ・令和3年度は新型コロナワクチン接種事業の主幹課であるため、事業の計画がたたず未実施。 ・令和4年度：乳児を持つ母親15名を対象に、尿中ナトリウム測定を実施。自分の塩分摂取の実態を知り、管理栄養士や保健師と一緒に食事内容を振り返った。		
R2年度事業費	1,272 千円	主な支出 内容	体組成計の購入、筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、減塩事業に伴う管理栄養士委託料、
R3年度事業費	0 千円	主な支出 内容	
R4年度事業費	99 千円	主な支出 内容	筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、減塩事業に伴う管理栄養士委託料
R5年度事業費	162 千円	主な支出 内容	筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、減塩事業に伴う管理栄養士委託料
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
取り組み事業⑥（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	一般介護予防事業		
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・介護予防教室（元気アップ教室、はつらつ運動教室）、いきいきサロン等を実施し、高齢者の介護予防に対する意識の向上、運動・口腔機能の維持向上、社会参加を促すことにより、健康寿命の延伸を目指す。		
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・令和2、3年度は、感染症対策として教室やサロン開催を中止することが多く、ゆいねっとで運動番組を放送し、自宅での運動習慣の継続を支援した。 ・令和3年度より、リハビリ専門職派遣事業（5人以上の住民グループにリハビリ専門職を派遣する）と認知症予防教室を開始した。 ・令和4年度は、感染症対策を図り、教室を計画通り実施している。いきいきサロンは、参加者の意向で休止するなど計画通り実施できていない地区もある。		
R2年度事業費	2,123 千円	主な支出 内容	委託料（長和町社会福祉協議会、依田窪病院）、講師謝礼、保険料等
R3年度事業費	1,405 千円	主な支出 内容	委託料（長和町社会福祉協議会、依田窪病院）、講師謝礼、保険料等
R4年度事業費	2,298 千円	主な支出 内容	委託料（長和町社会福祉協議会、依田窪病院）、講師謝礼、保険料等
R5年度事業費	3,094 千円	主な支出 内容	委託料（長和町社会福祉協議会、依田窪病院）、講師謝礼、保険料等
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
①事業を通じて自分の筋肉量、塩分摂取量を知ること、自身の生活を振り返り、改善する者がでてきている。 ②KDBシステム(国保データベースシステム)や健診結果より、後期高齢者の健康課題を抽出し、ハイリスク対象者等に関わりを持てた。 ③町民ハイキングでは、町内及び近隣での開催とし、1回開催できた。スポーツ教室、生涯学習講座については、基本的なコロナ対策をした上で、開催できた。 ④コロナの感染防止対策をとりながら、人間ドック・地区特定健診を実施した。 ⑤若い世代を対象に筋肉量測定、減塩事業を実施したことにより、健康づくりへの第一歩につながっている。 ⑥いきいきサロン参加者数は、昨年度より増加し、目標値を上回った。リハビリ専門職派遣事業は、8グループ延べ158人の利用があった。そのうち1グループはこの事業を機に新規に集い体操する活動を始めた。4年度より開始したレディースクラブは延152人、メンズクラブは延130人が参加されるなど、定期的な運動・社会参加の機会の増加につながった。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
①今後も事業の継続により、ライフステージにあった健康増進事業を実施していく。 ②健康づくり係と高齢者支援係が連携し、後期高齢者の疾病の重症化予防に努める。 ③「町民運動会」は、withコロナに合ったかたちに変えながら町民が集うイベントを開催したい。また、スポーツ教室、生涯学習講座については、今後もコロナ対策をしながら継続して開催していきたい。 ④未受診者への受診勧奨をし、受診率の向上を目指し、疾病の早期発見・受診勧奨に努める。 ⑤若い世代を対象に筋肉量測定、減塩事業を実施し、若い時から健康づくりへの意識を高めていく。 ⑥介護予防教室、リハビリ専門職派遣事業は、継続実施する。いきいきサロンは、5年度より地域の住民主体の通いの場に移行するため、いきいきサロン事業は終了となる。メンズクラブ、レディースクラブもより主体的な活動になるよう支援していく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-8
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（オ）健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実	事業担当課・係	町民福祉課福祉係					
総合戦略記載 内容	②支え合いサポート事業を充実させ、生活課題の解決に取り組むと同時に、活動を支えるボランティアの育成を図ります。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	支え合いサポート事業利用件数	630件	(年間)	545件	684件	553件		
	社会福祉協議会にボランティアとして登録する人数	300人	(R6時点)	309人	397人	383人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	支え合いサポート事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	・支え合いサポート事業(生活の軽易な困りごとの解消として、買い物代行、洗濯等の家事のお手伝い)を充実させ、生活課題の解決に取り組むと同時に、研修等実施し活動を支えるボランティアの育成を図る。 ・長和町社会福祉協議会に委託して事業を実施する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	高齢化による運転免許証の返納等もあり、外出支援の利用者が増えている。 また、ボランティアの登録については、災害ボランティアが増員している。なお、更正保護女性会30名について今回から数に含めている。							
R2年度事業費	3,769 千円	主な支出 内容	社会福祉協議会委託料(職員人件費等事務費)					
R3年度事業費	3,541 千円	主な支出 内容	社会福祉協議会委託料(職員人件費等事務費)					
R4年度事業費	3,687 千円	主な支出 内容	社会福祉協議会委託料(職員人件費等事務費)					
R5年度事業費	3,248 千円	主な支出 内容	社会福祉協議会委託料(職員人件費等事務費)					
R6年度事業費	千円	主な支出 内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
利用者の67%が、なっちゃん便であり、交通弱者への支援として機能している。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
ボランティア登録人数は、目標値に達しているが、新規若年層の登録の推進が必要である								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-9
------	------------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（オ）健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組み の充実			事業担当課・ 係	町民福祉課高齢者支援係			
総合戦略記載 内容	③地域住民主体の通いの場を更に創出し、地域での困りごとの解決、助け合いの仕組みづくりに取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
地域における通いの場の箇所数		18か所	(R6時点)	9か所	14か所	11か所		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	地域介護予防活動支援事業							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	住民主体の通いの場の立ち上げや活動継続を支援する。地域で介護予防活動に取り組む介護予防ボランティア（ながわおたっしやサポーター）を育成し、地域で介護予防を推進する活動につなげる。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	介護予防ボランティア（ながわおたっしやサポーター）の養成研修を実施し、新たに10名が修了された。サポーターは、サロンや通いの場で体操指導や、老人クラブや多世代を対象とした体力測定、通いの場の運営など意欲的に活動されている。サポーターにより、座ってできる体操を収録し、ゆいねっとで放送を開始した。							
R2年度事業費	432	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R3年度事業費	219	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R4年度事業費	209	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R5年度事業費	1,333	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	生活支援コーディネーター業務(地域住民主体の通いの場の充実)							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	生活支援コーディネーターは、地域高齢者のニーズ把握、地域の関係者とのネットワーク構築、高齢者が担い手として活動する場づくりなどを行う。地域のニーズに合わせて、通いの場の開設や支え合いの地域づくりを進める。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	生活支援コーディネーターは、地域のつながりの強化を目的に、通いの場開設に向けた働きかけをしている。令和4年度は、各地区で座談会を開催し、地域高齢者のニーズや地域課題の把握、支え合いの意識啓発に取り組んでいる。							
R2年度事業費	2,697	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R3年度事業費	2,756	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R4年度事業費	2,956	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R5年度事業費	3,531	千円	主な支出 内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					

取り組み事業③（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名		地域リハビリテーション活動支援事業（リハビリ専門職派遣事業）		
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）		住民の主体的な集まりの場にリハビリ専門職を年3回まで無料で派遣する。この事業を住民主体の通いの場開設のきっかけとし、継続した活動につなげる。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容		令和3年度より事業を開始した。事業をきっかけに通いの場も開設されてきている。令和4年度は8グループの利用があった。		
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	432	千円	主な支出内容	国保依田窪病院委託料
R4年度事業費	564	千円	主な支出内容	国保依田窪病院委託料
R5年度事業費	720	千円	主な支出内容	国保依田窪病院委託料
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で出てきた課題、課題の改善策）				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
①ながわおたっしやサポーター養成研修を修了した者のうち、1名が新たにサポーターに加わった。サポーターの活動内容も、個人宅に訪問して体操したり、ロコモフェスタ（住民を広く対象とした体力測定と啓発活動）の開催など、広がってきている。 ②通いの場は、休止している所もあり、昨年度より減少した。座談会は42地区で開催し、地域での支え合いの大切さや通いの場活動について参加者に伝えた。地域の課題や要望等は、関係機関・部署につなげるなどした。 ③事業をきっかけに、通いの場が1か所開設した。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行（計画）どおり継続して実施	
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載				
①介護予防に関心のある方が広く参加できるようなテーマで講座を開催する。より多くの方にサポーター活動を知ってもらい、活動の輪が広がることを目指す。 ②座談会を継続する。5年度より、いきいきサロンが住民主体の通いの場に移行するので、通いの場活動が継続できるよう見守り支援していく。 ③事業の利用が進むよう周知していく。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針		
地方創生への効果	今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった	②事業を現行（計画）どおり継続して実施	
委員からの意見		

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-10
------	------------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（力）医療体制の維持			事業担当課・ 係	こども・健康推進課健康づくり 係			
総合戦略記載 内容	①地域の安心のため、国保依田窪病院の運営を支援します。また、各種事業等で専門職が積極的に地域へ出ること で病院と地域のつながりをより深めます。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
国保依田窪病院の受診者数		60,174人	（年間）	51,983人	54,568人	54,505人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	国保依田窪病院（依田窪医療福祉事務組合）への負担金の支出							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・住民が安心して暮らせる地域医療を守っていくための支援を行う。 ・国保依田窪病院を維持していくためには、脊椎手術など県内外からの患者も多い整形外科と内科の2本柱を主 とした経営を継続するとともに令和2年4月に地域包括ケア病棟へと機能転換をした病棟運営及び医師・看護師確 保に努め経営の改善を図っていく。 また、高齢者等の訪問医療（診療、看護、リハビリ等）の更なる充実を図る。 ・救急医療や新型コロナウイルス感染症患者の受入、地域ニーズにあわせた病床転換など上田地域の公立病院 としての役割を持った地域医療に取り組む							
総合戦略開始時点 からこれまでの取 組み内容	・国保依田窪病院の運営に関しては、高齢化と人口減少が進む長和町を含む周辺地域において、安心して暮らし ていくために必要なインフラとして捉え、総務省が示す地方公営企業繰り出し基準や経営基盤強化に要する経費 を長和町と上田市において負担しながら維持をしている。人口に比して入院可能な医療機関が他圏域より少ない 上小医療圏においても必要となる病院であり、常勤医師の確保と高齢者が多い地域に即した医療提供の充実が 必要となっている。 ・内科医師及び小児科医師が増員され医療体制の充実が図れ救急医療の受入体制も整ってきた。 ・新型コロナ感染症の診療及び感染対策を行いながら安心した医療が提供されている。 ・広報、CATV、病院だよりにより医師等の病院職員の紹介や感染予防、内視鏡などの情報を周知しているが、一 層の病院PRに取り組む。 ・新型コロナワクチン接種について、国保依田窪病院による接種体制により早めの接種ができた。							
R2年度事業費	352,530 千円	主な支出 内容	依田窪医療福祉事務組合運営負担金					
R3年度事業費	359,826 千円	主な支出 内容	依田窪医療福祉事務組合運営負担金					
R4年度事業費	391,680 千円	主な支出 内容	依田窪医療福祉事務組合運営負担金					
R5年度事業費	436,553 千円	主な支出 内容	依田窪医療福祉事務組合運営負担金					
R6年度事業費	千円	主な支出 内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
住民の一番の安心となる地域医療が継続できている。 常勤内科医師が令和5年度は9人と充足されてきており、救急患者の受け入れ体制も整ってきた。 新型コロナウイルス感染症患者についても、上小地域の公立病院として保健所と連携を図り、積極的に入院を受け入れた。								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
②地方創生に相当程度効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
依田窪病院の将来に向けた方向性や計画を検討し、経営強化に向けた取り組みを進める。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
②地方創生に相当程度効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-11
------	------------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（キ）安心な暮らしを守るための空き家対策			事業担当課・ 係	町民福祉課生活環境係			
総合戦略記載 内容	①「長和町空き家等の適正管理に関する条例」及び同施行規則を活用し、空き家となっている危険家屋への対応を適切に行うとともに、施行規則に規定する補助金の運用についても検討し、美しい町並みを保つことを目指します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
危険家屋の残存件数		維持(90件)	(R6時点)	90件	90件	90件		
空き家等に対する指導件数		90件	(5年累計)	累計2件	累計2件	累計2件		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	空き家等対策計画の策定							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	空家等対策協議会を設置し、危険家屋(特定空家等)に対する措置の方針を定めた「長和町空家等対策計画」を策定する。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	長和町空家等対策計画を策定し、長和町における危険家屋(特定空家等)に対する措置方針を定めた。							
R2年度事業費	222	千円	主な支出 内容	長和町空家等対策協議会委員報酬・費用弁償:222千円				
R3年度事業費	35	千円	主な支出 内容	長和町空家等対策協議会委員報酬・費用弁償:35千円				
R4年度事業費	32	千円	主な支出 内容	長和町空家等対策協議会委員報酬・費用弁償:32千円				
R5年度事業費	117	千円	主な支出 内容	長和町空家等対策協議会委員報酬・費用弁償:117千円				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・令和4年度には、令和3年度の調査結果を基に調査業務を行い、危険度判定、位置情報取得等の空き家システムを構築した。 ・令和3年度において、危険家屋(特定空家等)に対する措置の方針を定めた「長和町空家等対策計画」を策定した。 ・令和2年度国勢調査の結果等を踏まえ、計画内における数値データ等の見直しを行った。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
・長和町空家等対策計画を策定したことから、町内の空き家対策を効果的かつ効率的に推進することを目標に、取組を進めていきたい。 ・令和3年度に行った町内における空き家に関する調査結果資料に基づき、詳細な現況調査を実施し、危険空家等の基礎データを作成し、令和4年度には調査業務として危険度判定等を踏まえた空き家システムを構築した。 ・令和5年度は、結果を基に判定された空き家のうち危険度の高い空き家について、協議会において「特定空家等」に指定を行い、助言・指導を行う。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの 意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-12-1
------	------------	------	--------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4 (ク)道の駅マルメロの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上	事業担当課・ 係	産業振興課農政係
総合戦略記載 内容	①観光客をはじめ大勢の人が集う「道の駅マルメロの駅ながと」、「和田宿ステーション」を地域の拠点と考え、整備・改修した施設を活用し、魅力向上に取り組みます。マルメロの駅ながとにおいては、大型農畜産物直売所を核とした複合施設を活用し、直売所、体験農場、レンタルオフィス、チャレンジショップの各事業を展開することにより、農業をはじめとした地域産業の活性化、都市農村交流の活発化、利用者のニーズを考慮した買い物の利便性の向上、情報発信等、様々な角度からの地域振興に取り組みます。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
大型農畜産物直売所売上高	156,000千円	(年間)	157,904千円	208,642千円	251,138千円		
大型農畜産物直売所出荷農業者数	200人	(R6時点)	245人	255人	254人		
レンタルオフィス及びチャレンジショップの新規出店数	3件	(R6時点)	4件	4件	3件		
体験農場利用者数	400人	(年間)	0人	0人	0人		
地域活性化に資するイベント来場者数	1,150人	(年間)	500人	120人	0人		

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	長和町道の駅エリア再整備による地域農業・地域産業活性化事業【地方創生拠点整備交付金事業】(令和元年度)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・令和元年度に地方創生拠点整備交付金事業として、道の駅マルメロの駅ながと内に、大型農畜産物直売所のほか、下屋と足湯を整備した。農業者等の所得向上及び道の駅エリアの中核となる施設として大型農畜産物直売所を核とし、加工研究室、体験農場管理室、レンタルオフィス、チャレンジショップの機能をあわせ持つ複合施設を整備。更に「マルメロの駅ながと」に隣接する商業エリアとの一体化に向けた施設整備として、道の駅直売所及び商業エリアに点在する店舗間の歩道に屋根を設置するとともに休憩スペースを充実させ、また、滞在できる道の駅エリアの一つの要素として足湯を整備した。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・第2期総合戦略期間においては、整備した大型農畜産物直売所を核とした複合施設を活用し、直売所・体験農場・レンタルオフィス・チャレンジショップの各事業を展開し、農業をはじめとした地域産業の活性化都市農村交流の活性化、利用者のニーズを考慮した買い物の利便性の向上、情報発信等、様々な角度から地域振興に取り組み、KPIの達成を目指す。		
(参考)R元年度事業費	399,841 千円	主な支出内容	補助対象外も含む全体事業費 大型農畜産物直売所建設・下屋建設(362,793千円)、足湯建設(23,870千円)、設計監理(13,178千円)

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	長和町道の駅エリアを核とした地域農業・地域産業活性化事業【地方創生推進交付金事業】(令和元年度から令和3年度)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・令和元年度から令和3年度にかけて、地方創生推進交付金事業として、大型農畜産物直売所を核とした複合施設を活用し、直売所・体験農場・レンタルオフィス・チャレンジショップの各事業を展開し、農業をはじめとした地域産業の活性化、都市農村交流の活性化、利用者のニーズを考慮した買い物の利便性の向上、情報発信等、様々な角度から地域振興に取り組む。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・地方創生推進交付金を活用し、体験農場立案・圃場整備・募集を実施、広告宣伝としてホームページ構築、機関誌等への掲載、ECサイト制作準備、折り込み等、オリジナルTシャツ制作を実施、イベント開催負担金を活用し道の駅エリア全体でコラボイベントを実施。また来場者数のカウント・集客エリアの分析・直売所商品動向をデータとして集積する為、カメラソリューションシステムを構築した。		

(参考)R元年度 事業費	36,755 千円	主な支出 内容	販売管理システム構築委託(30,360千円)、施設内機器リース料(225千円)、窓口機能人 材活動委託(1,200千円)、体験農場開設準備委託(1,000千円)、車両購入(3,970千円)
R2年度事業費	25,295 千円	主な支出 内容	施設内機器リース料(2,695千円)、集客力向上のための体制整備:カメラソリューション機 能構築(11,000千円)、窓口機能人材活動委託(4,800千円)、道の駅活性化事業補助金 (体験農場運営委託・イベント開催負担金・直売所広報宣伝費等)(6,800千円)
R3年度事業費	12,300 千円	主な支出 内容	窓口機能人材活動委託(4,800千円)、道の駅活性化事業補助金(体験農場運営委託・イ ベント開催負担金・直売所広報宣伝費等)(4,800千円)
R4年度事業費	866 千円	主な支出 内容	出荷者組織補助金
R5年度事業費	934 千円	主な支出 内容	出荷者組織補助金
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
・地方創生推進事業が令和3年度で終了し、今後は実施主体であった株式会社マルメロエイトが継続する。 ・体験農場においては新型コロナウイルス感染症の影響が収まらず実施に至っていない。 ・出荷者数は伸びているが出荷物が増えてこない原因の究明と対策に課題がある。 ・売上は目標以上の成果を上げており順調に推移しているものの、経費も増加傾向にあるため、健全な運営体制が維持できるよう、経営面で総合的に見直し・改善を図っていくよう協議していきたい。			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
令和3年度で地方創生推進交付金事業が終了した。今後実施主体であり指定管理者の(株)マルメロエイトが主となり、体験農場、直売所売上げ、利用者数増加の為、広告宣伝、実施可能なイベントの開催を行いKPI達成を目指す。カメラソリューションシステムの構築により、来場者数のカウント、集客エリアの分析・直売所商品動向をデータとして集積し経営に活用していく。			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・マルメロの駅ながと(マルシェ黒耀)にて月イチで開催されているクラフト展は、だんだん出展者が減ってきているので、ぜひ盛り上げてほしい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-12-2
------	------------	------	--------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（ク）道の駅マルメロの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上			事業担当課・ 係	産業振興課農政係			
総合戦略記載 内容	①観光客をはじめ大勢の人が集う「道の駅マルメロの駅ながと」、「和田宿ステーション」を地域の拠点と考え、整備・改修した施設を活用し、魅力向上に取り組めます。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
和田宿ステーション利用者数		70,000人	（年間）	44,217人	40,833人	44,718人		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	和田宿ステーションの整備							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・令和元年度に改修（出荷ブースの拡大等のリニューアル）した施設を活用して集客に努める。 ・和田宿ステーションの道の駅化を図り、施設・周辺整備等のハード面を充実させ、更なる集客を目指す。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・新型コロナウイルス感染症の影響がある中ではあったが、改修した施設を活用し、集客に努めた。令和4年度は道の駅化を目指しトイレ改修、駐車場舗装、情報休憩コーナー・授乳室新設等の整備工事を実施中。道の駅の認定を受け、来年秋に道の駅和田宿ステーションとして供用開始を予定。							
R2年度事業費	2,706	千円	主な支出 内容	光熱水費、指定管理料				
R3年度事業費	2,706	千円	主な支出 内容	光熱水費、指定管理料				
R4年度事業費	67,341	千円	主な支出 内容	光熱水費、指定管理料、道の駅化整備事業64,507千円等				
R5年度事業費	2,064	千円	主な支出 内容	光熱水費、指定管理料				
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者、収益共に大幅に減少している。イベントも自粛せざるを得ない状況にある。 ・キャンペーン隊による物品販売イベントの特産品準備に全面的な協力を行い、他事業との連携を図った。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が昨年より大きく厳しい状況であった。令和4年度は県内イベントを中心に可能な限り物販を行っている。 ・道の駅化整備事業が完了し、令和5年2月に国土交通省関東地方整備局より新規登録された。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行（計画）どおり継続して実施				
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載								
・道の駅和田宿ステーションの供用開始（令和5年10月予定）や新型コロナウイルス感染症の5類移行後を見据え、各種広告媒体を活用したPRや物販イベント等への参加により、町の知名度や集客向上を図る。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの 意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-13
------	------------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（ケ）時代に合った別荘地づくり	事業担当課・ 係	建設水道課別荘係、総務課 大門支所係					
総合戦略記載 内容	①別荘マスタープランを策定し、時代に合った別荘地の運営に努めます。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
別荘マスタープラン策定、内容に基 づく施策の実施		プランによる 実施	（R6時点）	マスタープ ラン策定済	経営委員会 開催	経営委員会 開催		
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 令和2年度：長和町別荘地マスタープランの策定 令和3年度以降：別荘地マスタープランについて経営委員会による効果検証の実施、別荘地マスタープランに基づく長和町観光施設特 別会計における経営戦略の策定、経営戦略に基づく事業の実施								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	長和町別荘地マスタープラン策定事業							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・町内には、町営や財産区営の別荘が5,000区画あり、その多くが産業構造の変化や景気後退などによる経済情 勢の変化などにより、解約区画の増加、所有者の世代交代など大きな時代の流れの中で転換期を迎えている。こ れらの別荘地が、将来にわたって健全で安定した管理運営を継続していくための方策をマスタープランで示し、別 荘地が町全体の大切な資源として活用されるよう、今の時代が求める魅力的な別荘地を創造していく。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・令和3年度直営別荘地経営委員会を開催（効果検証の実施）することができた。							
R2年度事業費	557	千円	主な支出 内容	策定委託料、委員報酬、旅費				
R3年度事業費	100	千円	主な支出 内容	経営委員会 委員報酬、旅費				
R4年度事業費		千円	主な支出 内容					
R5年度事業費		千円	主な支出 内容					
R6年度事業費		千円	主な支出 内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	策定内容に沿った各施策の実施							
5年間の取り組みの 方向性（取り組み内 容）	・将来にわたって健全で安定した管理運営を継続していくための方策をマスタープランで示し、別荘地が町全体の 大切な資源として活用されるよう、今の時代が求める魅力的な別荘地を創造していく。 ・令和3年3月に長和町別荘マスタープランが策定されたことを受け、令和3年度以降に経営委員会による効果検証 及び長和町観光施設事業特別会計経営戦略の策定、経営戦略に基づく事業の実施を行う。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、策定委員会の書面開催、コンサル業者とのリモート打ち合わせを 行い原案を策定、課題を洗い出し目指すべき方向性や施策の検討にあたっては、オーナー様や若い世代の皆様 へのアンケートを実施、財産区や地域おこし協力隊などとのヒアリングを通じ様々なご意見をいただき、パブリック コメントの募集も行った上で、令和3年3月12日「長和町別荘地マスタープラン」が完成した。							

R2年度事業費	557	千円	主な支出 内容	策定委託料、委員報酬、旅費
R3年度事業費	100	千円	主な支出 内容	経営委員会 委員報酬、旅費
R4年度事業費		千円	主な支出 内容	
R5年度事業費		千円	主な支出 内容	
R6年度事業費		千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
・長和町別荘地マスタープラン策定事業は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令などで、オーナー様の大半を占める都市部からの移動が制限されるなど別荘地を取り巻く環境も大きく変化した。一方、感染防止を目的とした在宅勤務やリモートオフィスなどの新しいワークスタイルや近距離滞在型リゾートなどの需要増加に伴い、別荘地がそれらのアイテムの一つとして見直されてきている。マスタープランにおいてもそれらの現状を反映した計画となった。 ・策定内容に沿った各施策の実施について、令和4年3月に経営委員会を開催し「長和町観光施設事業経営戦略」が策定された。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
①地方創生に非常に効果的であった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載				
・町内の別荘地が地方創生の総合戦略の一翼を担える、長和町政発展のまちづくり資産として位置づけるために、次代を担う新テーマを《～「別荘の町 NAGAWA」の再構築を目指し～》とし、新しい別荘地像の創造と町政と一体となった別荘地運営を推進するための目標を、各財産区との協議、直営別荘地経営委員会において発展させていく。今後は、「長和町観光施設事業特別会計における経営戦略」を策定することができたため、物価高による資材費の高騰や光熱費等の高騰も見据え、より一層効率的な経営を実践したい。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-14
------	------------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（コ）ふるさと納税制度の活用			事業担当課・ 係	企画財政課管財係			
総合戦略記載 内容	①ふるさと納税のPRを積極的に行い、寄附金額の増額を目指すとともに、寄附された資金をもとに地域課題の解決や返礼品による地域経済の活性化に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
指標		R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
ふるさと納税金額		40,000千円	(5年累計)	累計26,215千円	累計40,053千円	累計52,874千円		
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	ふるさと納税事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	返礼品の拡充を検討し、寄付金額の増加を目指していく。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度は、延べ1,998人の方から26,215,727円、令和3年度は、延べ702人の方から13,837,650円、令和4年度は、延べ476人の方から12,821,101円のふるさと納税寄付があり全額をふるさと納税基金へ積み立てた。							
R2年度事業費	40,205 千円	主な支出内容	支援業務委託料 11,998千円、システム使用料 1,648千円、ふるさと納税基金積立金 26,216千円					
R3年度事業費	21,097 千円	主な支出内容	支援業務委託料 6,382千円、システム使用料 657千円、ふるさと納税基金積立金 13,838千円					
R4年度事業費	19,068 千円	主な支出内容	支援業務委託料 5,286千円、システム使用料 833千円、ふるさと納税基金積立金 12,822千円					
R5年度事業費	24,618 千円	主な支出内容	支援業務委託料 8,329千円、システム使用料 1,067千円、ふるさと納税基金積立金 15,000千円					
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策: KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
令和4年度のふるさと納税寄付額は、前年度と比べて△1,016千円、7.3%の減額となった。これは、新型コロナウイルスの影響により景気が後退し続けていることで、寄付行為を行うよりも生活を優先させる方が増えたことや返礼品の人気の日常生活用品類に移行したこと等が要因として挙げられる。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
①地方創生に非常に効果的であった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
魅力ある返礼品にするため、新商品開発はもちろんのこと、複数の価格帯を取り揃えたセットメニューの充実や体験メニュー、オーナー権(お米や野菜、果樹等)、目玉商品のピックアップなどの研究を重ねるとともに、より多くの方に見ていただけるようサイトを追加すること等を研究・検討していきたいと考えている。特に体験メニューや宿泊補助券、オーナー権などは、当町に足を運んでいただけることにもなるので、地域へより大きなメリットがあることが想定されるため、十分に検証を重ねていく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの 意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R4終了・R5計画用	整理番号	4-15
------	------------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4（サ）コミュニティ施設の整備による地域共生社会の実現とSDGsの実践	事業担当課・係	町民福祉課福祉係、教育課社会教育係（ほか関係各課が連携）
総合戦略記載内容	①地域共生社会の実現とSDGs（「持続可能な開発目標」）の実践のため、従来の公民館的機能（講堂、会議室、調理室等）に加え、コワーキングスペースも備えたコミュニティカフェ等を備えたコミュニティ施設を整備します。施設では、それぞれの部屋を有機的に連携させ、障がい者雇用の創出、多様な働き方（働き方改革）の支援、地域住民等の交流拡大、地場産品の消費拡大、放課後児童受入れによる子育て支援、子ども食堂運営による子どもの貧困対策、高齢者をはじめ全世代を対象とした町民への効果的な健康増進事業の実施による健康長寿のまちづくり、機能を強化した避難所、地域（近隣市を含む）の中学校・高校・大学（依田窪南部中学校、丸子修学館高校、長野大学等）と連携し、福祉教育のフィールドワークを受け入れるなど福祉分野における人材育成の場として活用します。		

重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
障がい者を中心とした雇用創出者数	4人	（R6時点）	0人	0人	0人		
コミュニティカフェ利用人数	1,800人	（年間）	0人	0人	2,580組		
コミュニティカフェ売上高	1,800千円	（年間）	0千円	0千円	2,371千円 （パン売上げ含む）		

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	地域共生社会実現のためのコミュニティ施設整備事業【地方創生拠点整備交付金事業】（令和2年度繰越令和3年度）			
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	・地域共生社会の実現とSDGs（「持続可能な開発目標」）の実践のため、従来の公民館的機能に加え、コワーキングスペースも備えたコミュニティカフェ等を備えたコミュニティ施設を整備する。施設の具体的な活用としては、上記、「総合戦略記載内容」とおり。 ・古町地区への山の子学園共同村の移転が予定されており、運営する社会福祉法人と連携しながら、現在の古町公民館の敷地に事業目的である地域共生社会の実現とSDGsの実践を目指したコミュニティ施設を建設するものである。 ・施設整備の財源として、地方創生拠点整備交付金の獲得を目指す。 ・本施設の整備に関連した取り組み（住民説明、基本協定の締結等）を行う。 ・整備された施設は、施設の目的に沿って関係機関が協力し、有効に活用する。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和4年8月に施設完成、9月から施設利用開始、10月よりコミュニティカフェ営業開始。 初年度のため社会福祉法人樺の木福祉会と、今後の管理方法、運営等定期的に調整を継続している。			
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	169,321	千円	主な支出内容	古町公民館解体工事【設計管理費含】コミュニティ施設建築主体工事（前払分）・機械設備（前払分）及びコミュニティ施設設計費
R4年度事業費	188,982	千円	主な支出内容	コミュニティ施設建築主体工事（精算分）・機械設備（精算分）・Wi-Fi環境整備工事及び施設建設監理費
R5年度事業費		千円	主な支出内容	
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）				
事業名	（上記による施設の運営事業：施設整備後に記載）古町コミュニティ施設の運営・山の子学園との連携			
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	施設利用促進を図るための周知を進めていく。また、施設を利用が増加することでカフェの利用促進につなげていく。 併設の障がい者支援施設との連携をさらに深めながら、全世代を対象とした健康増進事業、周辺地域の学校とも連携した福祉教育実践のための受け入れ事業等に取り組むなどありとあらゆる人々が集える拠点づくりを目指す。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	初期段階として町の生涯学習教室や自主活動サークル等において、施設の利用促進の働きかけを行った。こちらの方では徐々に浸透してきている。通常の施設利用者からカフェの情報も徐々に浸透してきていると考える。			

R2年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
R4年度事業費	1,930	千円	主な支出 内容	コミュニティ施設維持管理経費(指定管理料)
R5年度事業費	2,190	千円	主な支出 内容	コミュニティ施設維持管理経費(指定管理料)
R6年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
令和4年10月からコミュニティカフェ「やまカフェ」が開業した。半年の利用状況は上記のとおりであるが、古町コミュニティ施設の利用者は、改築前より増加しており、地域住民との交流がスタートできた。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載				
古町コミュニティ施設の利用者を増やすために、教育課、公民館、社協等と連携し、施設の利用を活性化していく。 社会福祉法人樫の木福祉会と連携し、障がい者の雇用確保に努める。				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	